愛國婦人

毎月五日二十日發行

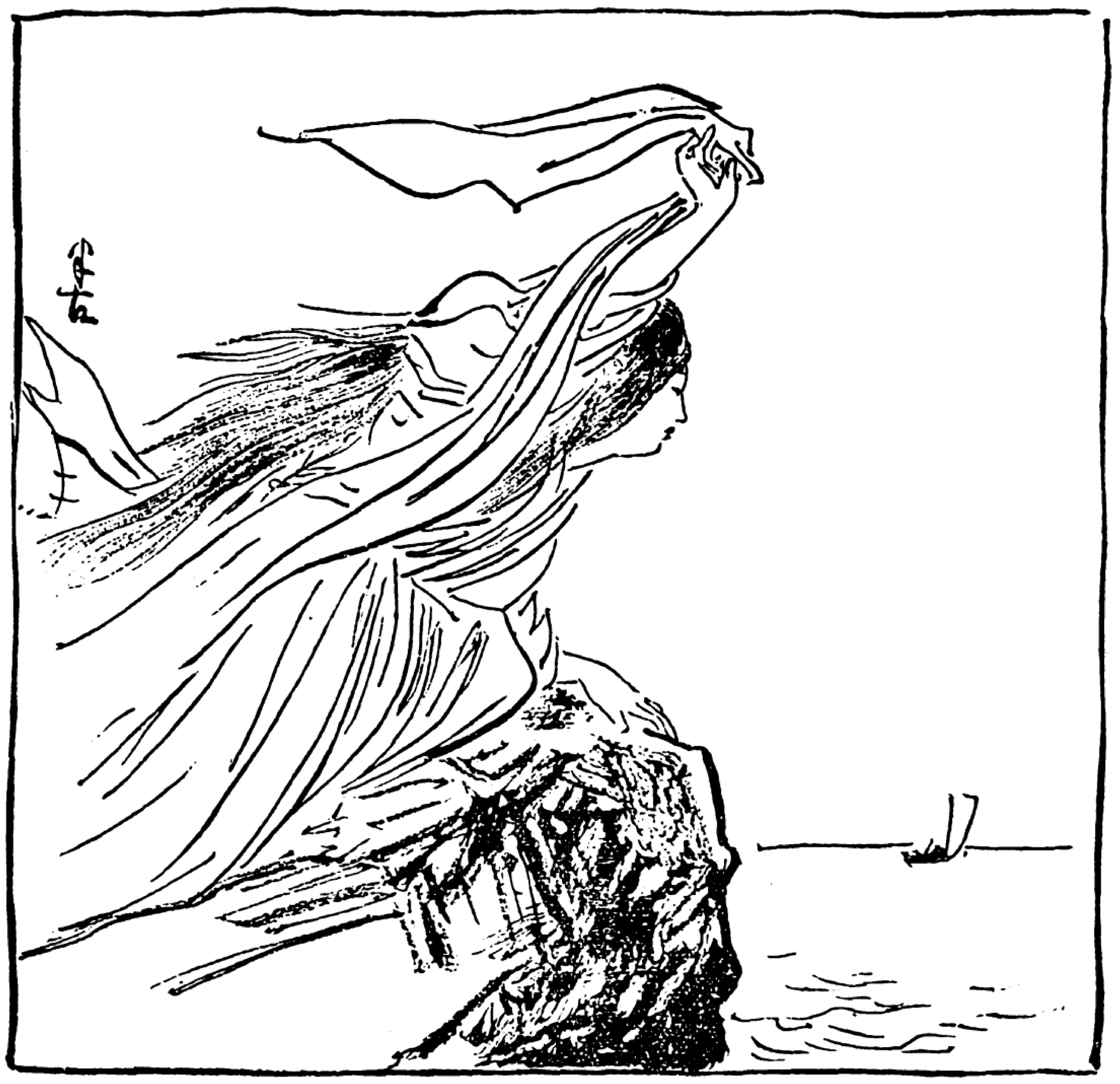
一部金參錢　壹ヶ月金六錢　半年分參拾六錢　全國無郵送料
廣告料一行六十錢
本號全部無轉載
東京麹町區（牛ヶ淵公園）
發行所　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　大久保高明

社説

外見

鳥あり、美くしく見せんため、他の鳥の羽根を拾ひ集めて、身體を飾り、意氣揚揚たりしに、他の鳥より、その羽根を拔き落されて、また元の鳥となりて、笑はれりとは、西洋に名高き寓話なり。人はこの鳥にも似たるかな。あらゆる動物中、人は外見を飾る動物なり。他の動物は、人ほど見えを氣にするものなし。鳥を笑ふの權利あれども、人にはなし、人は鳥以上の大見え坊なればなり、人は、己れが眞價以下に見らるゝことは、死んても厭やなり、眞價通りに見らるゝにては、承知せず、少しにても眞價以上に見られんと、悶きあせる妙なる生き物なり。富める者は、その富よりも、一層富めるが如く見られんとて、邸宅を宏壯にし、衣服を華美にし、飲食を贅澤にし、その他樣々の餘計なる事をして、それでも金持に見えぬかと、世人に金持の押賣をなし、貧しき者も貧しく見られまじとて、苦しき中より、不相當なる見えを飾る。歩いて濟む者は、車に乘らんとし、一人引きて濟むものは、二人引きとし、車ですむ者は、馬車に乘らんとす。中には、行かでも濟む避暑に、一日行きて、行つた仲間となり、行かざる者に、その餘裕を示さんとする者あり。銅は銀に、銀は金に、出來ねば鍍金にして、入らぬ所に金色銀色の目障りなる世の中なり。即ち人は一から十まで見えばかりにて、見えのために悶き、焦せり、泣き、笑ひ、喜び、悲みて、何時しか死の停車場に到着して、最後に葬式、墳墓にまで見えを張らんとするもの丶如し。嗚呼人は果して此の如きものなるか。

然らば婦人は如何にといふに、婦人は、人の中にての飾り手なり、見え坊なり。外見に於ける大なる負け嫌ひなり。着物にて恥をかくことは、その堪ふべからざる苦痛にして、その相會するや、第一が着物の無言の競り合ひにて、その次ぎが用事なるかの觀なきにあらず。美なる衣服を着せるものは、他の婦人が、如何にこれを嘆賞し、羨み、口惜しがるかに注意して、竊かに勝利の笑みを洩らし、後れを取りたる婦人は、殘念口惜しの齒がみをなして、相手を妬み憎み、何時かはその仇を取らんとす。獨り衣服のみならず、髮の格好、櫛、簪、時計、指環、履物等、頭の先から足の先まで、見えの競爭ならねはなく、其の苦心察するに餘りあり。然れども人間の眞價は、決して外見にあらず、剝げば取れるが如き、安つぽきものにあらず、その人眞の所有にして、外見のために左右せられざる精神と働きとにあり。殊に婦人に於ては、妻として、母として、又姑として、よくその天職を盡す所に、その眞價は存するものなれば、外見のために、その天職を犧牲とするが如きことあるべからず。外見を好む婦人の一人家庭に居ることは、家庭破滅の基なりと知るべし。固より外見も或る度までは、社會生活に入用なれば、全くこれを輕視して、野蠻人の如く蓬頭跣足にて奔り廻るべしといふにあらず。唯その本末輕重を誤らず、外見の奴隸となりて、肝心の本職務を忘れざるやう注意すべきのみ、而して今の世はこの注意が必要なる時なり、外見が如何にも出過ぎたる時なり。外見を除きて零なる人の如く、悲むべく氣の毒なるものなければ、婦人もこの零組と、ならざるやう、確乎して、勵み勉めざるべからず。（完）



皇孫殿下の御近狀

宮中顧問官　御養育主任　丸尾錦作

本月十三日丸尾御養育主任を青山御所に訪問し暫時の對談を得て　皇孫殿下の御近狀を拜聞せり謹みて玆に之を記述し愛讀者諸君に報ず文字の責はすべて記者にあり

第一皇孫迪宮殿下は本年三月にて滿六歳にならせられ、第二皇孫淳宮殿下は本年六月にて滿五歳にならせられ、第三皇孫光宮殿下は本月にて二歳と九個月にならせられます。現に御すまひの當青山御所は、都下雜沓の地を離れ、土地高燥であり、且つ樹木は鬱蒼とし流通せる空氣は極めて清鮮で、實に高潔なる御座所であります。三殿下日々の御課程及び御遊嬉の御模樣は、毎朝拜診後御洗面あらせられ、夫より御召換の上、伊勢大廟の御拜をすませられし後、尊上へ御挨拶を申上られ、此節では毎朝七時三十分に御朝飯を御用ひ遊ばされます。夫から午前中は、二回宛凡卅分間室内の幼稚園科御作業即ち積木、豆細工、紙摺等の恩物に依りて、御作業を遊ばされます。其他は室外に於て遊嬉をさせられます、其種類は「シーソー」や「ブランコ」又は游動圓木等にて、なか〳〵御活潑に御勇壯に御運動あらせられます。午後は天氣なれば御濱御殿、新宿御苑、吹上御苑又は上野の植物園、動物園等へ御成りにならせられます。日々御相手としては資格ある家庭の幼兒を學習院の附屬幼稚園より八人（但其内四人は現今同院小學部に上進在學）御選拔になりまして、毎日二人宛交替して御相手申上ぐることになつて居ます。又御教養申し上ます人々は高等女子師範學校を卒業せる者三人及京都高等女學校を卒業せる者一人であります。三殿下の御中にて光宮殿下は、御年も違はせられますから自然と御兄上殿下とは御遊等の御模樣が違ひますけれども、御三方樣とも實に御强壯にして、其御聰明に渡らせられますとは申すも恐多きことながら、國家の爲慶賀する處であります。皇太子同妃兩殿下の御座所たる赤阪御所とは御殿續きてあるのですから、時々御往來も遊され親しく御對顔あらせられます。誠に日々御麗しき御動作を拜しまするのは、何よりも恐悅至極のことで御座います。

愛國婦人會監事　三井苞子

朝日さすむかひの山の若松は
幾千代までも操かはらす

愛國婦人會評議員　有島幸子

明治三十九年秋の頃學習院運動會ありし日　皇孫殿下ならせ給ひて御旗など打ふりつゝ御そなし給ふををろかみまつりて

皇御子のちひさき御手をかさしつゝ
萬歳よはすけふのかしこさ

◎本號には附錄として長野縣諏訪郡幹事部戰役功勞受賞者の寫眞を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

我同盟國に於ける所感

各階級を通じて和親歡迎の情切なり——英吉利小學校生徒の日本國歌——交叉國旗に對する敬禮

理學博士 男爵 菊池大麓

私が今度英國へ參つて感じたことを一二お話をして見ませう。

日英同盟、此日英同盟と云ふことに就ては、英人は非常に之を歡迎して、如何なる種類の人も、如何なる階級の人も皆之を非常に喜こんで居つて、現に先達て伏見宮殿下が御出になつた時に、或る工場へ御出になるので、其御通過の際などには、職工は勿論妻子など、云ふ者が道端に群集してさうして歡迎する有様といふものは、實に吾々が見て甚だ心持好く思つたことである、上流社會ばかりでなく、總ての階級、又總ての黨派の者が此日英同盟と云ふことに就いては餘程喜んで居ると云ふことは非常に吾々は愉快に感じました。

それから小學校の小兒などが此事を能く知つて居る、或る學校へ行きました時に、私を案内をして行つた學務委員が、丁度七八歳位の兒童の級でありましたが其の級へ行つて、此人は日本から來たのである、お前達は日本と云ふ國を知つてるかと聞いた所が皆手を擧げた、それから世界の地圖を持つて來させて、それを披げて、此中で日本は何所だか指して見ろと言ふと、色々指した中に一人が日本の處を指した、跡で其人が言ふのに、どうも實はまだ幼ない子供だから、アヽは言つ見たけれども、日本の位置を知らないやうなことでは困ると思つて心配したが、アヽ云ふ譯であると言つて居つたが、之を私が三十年前に英吉利へ行つた時の有様に比べると、非常なる進歩の差がある、其時分私共が外へ出ると、跡から支那人支那人と言つて往來に居る子供などが跡から尾いて來ると云ふやうなありさまでしたが、一般に支那と云ふものは知れて居りましたけれども、日本と云ふものは隨分教育のある人でも碌に知らぬ、それで私が支那人ぢやない日本人だと言つても、詰り日本は支那の一部分みたやうなものだから、何方でも同じやうなものだらうといふやうな有樣であつた、處が近頃は今言ふ通り小學校の七八歳の者でも、直ぐに日本は何處にあると云ふことを指すことの出來る樣になつた、近頃英吉利に大分支那人が行つて居るけれども、其等は支那人と云ふと受が惡いものだから、反つて支那人の方から日本人を擬裝つて居るやうな有様で、實に三十年ばかりの間の違ひを見ては、轉た今昔の感に堪へぬやうな次第であります。

又或る學校へ行つた時に、高等小學の兒童が一室に集つて、さうして君が代の譜に英吉利の言葉を附けたのがありますが、其歌を唱つて、さうして日本の旗と英吉利の旗と交叉して、中央にそれを飾つて、一同が其旗に向つて敬禮をする、即ち敬意を表するのであります。

此君が代で思ひ出しましたが、丁度伏見宮殿下が倫敦の市長の御招待で御出になつたことがありますが、其時に吾々も招かれた、尤も倫敦に居る日本人の多數は矢張招かれて行つたのでありますが、殿下の市廳にお入りになる時に、君が代の樂を奏して、さうして子供が君が代を日本語で謳つた、實にそれが能く出來て殆ど其の音の工合などは日本人の通りであつて、吾々などは非常に愉快に感じ、殿下も特に之を御喜びになつたやうでありました、其位意を用ゐられてある御歡迎を受られたやうなことでありますが、まあチヨツト言ふと、さう云ふやうな次第で、日英の同盟と云ふことに就ては餘程何といふことなしに、別にどうしてそれが善いものであるか、惡いものであるかと云ふことの解らぬやうな者でも、單に喜んで居ると云ふやうな有樣でございます。

（未完）

日本婦人の特性

（樂しき家庭を作るべき秘訣）

愛國婦人會評議員 三輪田眞佐子

墨子といふ書に、安居なきにあらず。われ、安心なきなりとあり。誠に、ひさかたの天の下、あらがねの土の上、決して廣からざるにあらざれど、若人道を離れて生存せんには、身を容るべきところなからん。從ひて、人世の快樂なかるべし。女子は二樣の世界に住むものなり、則ち人の住める世界の外に、又一家の內に、一天地を作るべきものなり。この一家の天地は、小なりとはいへ、樂しき家風を作らんには、その精神は、無限に逍遙し得て、幸福こよなかるべし。あながち、一家の外にのみ、樂事あるにあらず。人は、霞たなびく春の朝、木の葉ちる秋の夕、くまなく、精神を吐露して、その嬉しさ、悲しさ、又あらまほしきこと、あらずもがなのことなどを、睦みがたりするばかり、樂しきはなし。されど、人、名利のみを求め、今日の知人、明日の仇敵ならんも知りがたき、所謂、ものいへば、くちびるさむき秋風の吹く世には、かゝる樂は、なすに由なし。唯、女道を守り、良人より深く愛せらるゝ妻のみは夫と共に、かゝる樂をなし得べし。古歌に「大船のおもひたのめる君ゆゑにつくすこゝろは惜けくもなし」とあり。果して、かゝる心づくしの妻あらずば、誠の樂を味ふこと難からんか。昔松浦佐夜姬といふ女ありけり。その夫、朝廷の御使にて、漢土へ渡らんとて、舟に乘りしとき、いたく、その別を惜みて、遙に離れ行くをば、見送らんとて、高き山の峯にのぼり、領巾もて、霞たえ〳〵に招きしかば、見る人、感涙せざるものなかりしより、その山を、領巾麾峯といふとぞ、例へばかゝる夫婦のなせる生活こそ眞に樂しき家風を作りしならめ、苟日本の婦人たるものは、かゝる操情を最も大切とすることを決して忘るべからず。人若、一朝この日本婦人の精神を忘失せんか、天下の女子、冷淡無愛の風に化し、從ひて社會は、乾燥無味の俗とならん。されど只高尙ならざる愛戀もて、風俗を亂せよとにあらず。一度は中華とまでもてはやされ、賢婦人輩出せる支那の一例を試に擧げんに、かの歐陽修の、瀧岡阡表のといふ文章を讀む毎に、いまだ、涙の流るゝを覺えざることなし。そも〳〵修は宋代の文豪大才なり。されど母の教なかりせば、凡夫となりて、終りたるかも知る可からず。その母が修を教へしことを見るに、曰はく「汝が父は吏となりて廉なりき。且俸祿うすきに、自、儉約して、貧に施すこと多かりしをもて、死にしとき、毫末だに、餘財なかりき。唯、汝が自力をもて、出世せんことを望みしなり。汝いそしみはげめよや。」又「汝が父は其なき母を祭る毎に、涕泣していふやう、母君、存命のときは、恒に、貧しうして、孝養足らざりき。今は、餘あるものを。」と又「汝が父、判官たりし時、なほ嬰兒なりし汝を回顧していふやう、あはれ、人、誰か、生を願はざらん。されど、今や、法のため、死ぬべきもの多し。」と歎きけり。その心、仁に厚きこと、かくの如し。汝も、父に似よかし云々と、宜なり、修の非凡なりしと。日本婦人たり將來の母たる女子たる者、かゝる心をもて、子女を育てんか。そのたのしみ、たとへんに、ものなかるべし。いふなかれ、女子に、樂なしと。その他、老たる親を安じ、兄弟姉妹としたしみ、婢僕は、恩德に感じて、命のまゝに、勤むるなど、すべて、和氣靄然たるたのしき家風を作り、傍より見るもの、これに欽慕し、聞く人、これに感服して、そが家の園生の草木は、一層靄しく、犬、猫さへも平和に馴れて、たのしむめりと、思はるゝばかりの家風を作るべし。されど、かゝる家風は、獨女子、自、春風の如き德性を具へ、勞を厭はず、苦を忍び、輕快に、家事を果すにあらずば能はじ。元來、良人の、酒色に耽るは、天然の惡しき性質によることもあらん。されど、たま〳〵、妻のなすこと、言ふこと、その意に適はず、從ひて、眞面目に、世務を勉勵することを欲せざるより、放蕩に流れそめし例もあり。なほ子女の、訓戒を守らず、婢僕の、命令を奉ぜざるは、女子の不幸なり。あはれ、女子の一顰一笑は忽にすべからず。樂しき家風を作らんと誤了して、華奢に流るゝ勿れ。華奢は永遠なること能はずして、平和團欒の仇なり、樂しき家風は、反りて、節儉にして、且質實なる生活をなす人にあらざれば、なし得ず。凡女子は入るを計りて出し、恒に分限を離るべからず。桁花は、質實なり、故に、さかり久し。櫻花は華美なり、故に、散ること速なり。されば、いふなかれ、人は師に乏しと。宇宙の現象は、悉く師ならんかし。日本の婦人は樂しき家庭を作り其良人をして全力を外部に盡さしむること最も大切なる本分なれ、是れ日本婦人の特色として大に世界にほこる處となすべきにこそ。

要は自己を熱誠快活にし樂しき家庭を作るにあり。樂しき家風成り樂しき家庭に在るの良人は、始めて心身の安心安居を得て、一日の疲勞を忘れ、再び勇往邁進の氣を養ひ家外に出て、自己全力の活動をなすを得るに至る。日本婦人の務むべき價値はこゝに存し、無上の幸福は此間より生まるゝと知らずや。嘗て述べたることを書きつらねて責を塞ぐになん。

日本婦女子の美術教育

日本女子美術學校監督 小山正太郎

吾國では女子に美術教育を授くるに、男子と同樣に扱ひ、其修養すべき課程の如

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きも、男子と同種で、而して修了期も同期であるが故に、充分の發達を見るとの出來ない理由となるので、深く遺憾に思ふ處である。女子は女性としての天性ありて、其男子に及ばざる點あるも、亦精巧緻密を要する場合の如きは、男子よりも優れる處あるのである、故に繪畫の如きにありても、自然と女性には女性相應の繪畫あり、假令ば難破船の景の如きは、實際船乘業をして自身其境遇に座して、親しく出遇さゞれば、其神髓を寫實するが難いのであるが故に、如斯とは事實女子の身として多く出遇すの機會がない、從て此種のものに筆を染むるとは寧ろ不得意と云はねばならぬ。故に夫よりも、庭園のスケッチの如きを行ふのが却ツて其精巧を表す上に於て、尤も女子に適當とする處である。又虎や馬なぞも、女子の學ぶ處でなく、寧ろ猫とか、鷄とか、自然と温和に適ける者を取る方が、即ち女子の天性と本領とを發揮する上に於て、極めて捷徑であると信ず、然るに現下我國では、女子に對する美術教育が其天性に應じて之を發達さすると云ふ仕組になつて居らぬのである、幸ひにも自分は今回自己の理想とする教育を行ふと云ふ下に於て、女子美術學校監督を依賴されたるに依り、此機を利し、聊か卑見を左に述ぶる處あらんとするのである。

由來東京に設立しある學校の卒業生中多くは實地に應用するを能はずして了る者があります、之は教育の方法が女子の天性を發揮して導くと云ふ法を取らざるの缺點と思はれます、其所で自分は今回敎育を監督する方法は、まづ精神をして飽迄國情に適ふ樣施す考であります。夫は外ではありません、油畫の如きも座して畫かせ西洋式を取らないで、日本家屋內に於て日本式に行ふ樣にする積りであります、而して女子に適當な繪畫を敎ふるとに努め決して不自然的のものとは絕對にせん決心であります。

（以下次號）

歐米婦人觀一斑（承前）

英國婦人の博識―英國皇后陛下へ拜謁

海軍中佐 山本大將副官 加藤寬治

食事の間に前お話した樣に自動車や「ロット」杯に伏見宮殿下首め隨行員を案內される場合にも、主人よりは令孃杯が主な案內者になつて、さうして一々自分の領地の大きさやら園內の樹木の話やら、又屋外に出られゝば近傍の地理だとか何だとか云ふことを、大小となく少しも客を倦ませないやうに各種の話を續けて說明せられる、是等に至ると誠に智識の廣いものでありまして、吾々ども軍人一點張て誠に軍事上の外は智識が無いものですから、花の話をされたり植物の話などをされたりして、日本にも此樣な花がありませうかと云ふやうなことを聽かれると、どうですかと云ふやうな譯で一々赤面したことが度々ありました。是等は向うの婦人が、（英吉利ばかりではないが）一般の智識に富んで居つて、廣く各種のことに行き涉つて、何かに付けて話を絕さぬと云ふことが、さう云ふ社會の主なる學問として居ると見えるです。それで他の場合に於きましても、今度は極上の上の社會ばかりしか見なかつたのですけれども、今のやうに家庭に於ける婦人の有樣が先づ概して好く見受けられた、それは誠に吾々ども、敬服した次第であつて、能く歐洲大陸の方に往くと、誠に家庭のことに就て、殊に夫婦の關係に於て嫌な話を聽くことがあるのですけれどもそれは英吉利と雖も絕對に其樣なことは無いとは言へないけれども、殊に人目にも著しく感ぜらるゝことは大陸の方が多い樣です、私が先年行つて居りました露西亞とか佛蘭西あたりに多く見受けられるやうでありました。それは隨分外國ては離緣と云ふことがむづかしいものですから、實際夫婦と言つても名ばかりで、唯同居して居ると云ふことだけて、內實の模樣を曝露して見ると、殆ど他人のやうな生活をして居るものが隨分有るのでありまして、さう云ふやうな所から、家庭の模樣が餘ほど變に見えるやうなものが大陸には彼處此方に見受けたり聞いたりするのですけれども、今度英吉利に居る間はさう云ふ處には一遍も往きもせず耳にも觸れなかつたのです。概して一般に英吉利は公德心が發達して居る國ですから、それと道德も他に比較すると堅いさうですから、自然さう云ふとも眼に觸れないのであつたらうと思ふです。

それから、英國の皇后陛下には伏見宮殿下が英吉利を御立ちになる前日拜謁をしまして、始めて英國の日本で謂ふ雲上人の婦人なるものを見た譯であるのです。御風采と云ひ御態度と云ひ謂ゆる極人に接し易いやうな御態度であつて、接伴員が銘々の官職やら名前やら一々御披露を申上げると、それに對して一々御丁寧な御挨拶がありました。拜謁の模樣を申上げると、殿下並に山本大將首め官等の順に依つて拜謁の御部屋に居並んで居る、其處には陛下も御立になつて居らる、さうして接伴員の主な者が其處に居つて、他にも宮內官とか女官あたりが一緒に居るけれども、極、儀式張つて嚴しく整列されて居ると云ふ譯ではなくして、唯其近傍に集つて居らるゝと云ふ譯で、さうして山本大將首め一々前に進まれると、モウ僅か一步か一步半ぐらゐの距離で握手されて、其處で親しく御謦咳に接することが出來るのであつて、極今回は御內輪に御受けになつたのだらうと思ふてすが、概して吾々にまでも、お近く有難い御沙汰を賜つた樣な次第で、非常に光榮に感じた譯であります、其時は皇太子殿下も皇太子妃殿下も御同列であつて、吾吾が英國の雲の上の貴婦人を見たのは其時タッタ一度であつたてす。御服裝は今一寸覺えて居りませぬが、極目立たない澁洒した上品な御服裝てありました。實は皇后陛下は殿下が御着になつた頃は西班牙に往つて居られたのであるが態々殿下の御出發前に是非お遇ひになりたいと云ふので、御旅行を急がれてお歸りになつた。是は誠に有難く感じた次第て、殿下のみならず吾々に迄も拜謁仰付られて、ちかく御前で御言葉を戴いたのは無上の光榮と感ずる次第であります。（接後）

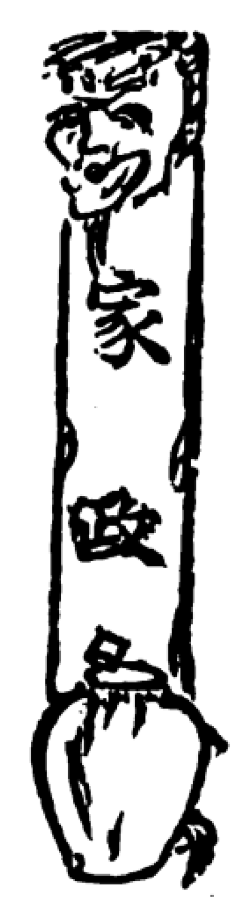
齒の良否は國民の元氣に影響す

ドクトル 志村誠麿

男女ともに齒の不良なるは、直に食物を食する上に於て不便あるのみならず、不正の齒列にありては、勢ひ咀嚼不十分即ち粗嚼の慣習を長ぜしめ、其結果は直に身體の健康を害する最大原因となりて招かざる疾病を受け、遂に元氣を消磨するのみならず、生命までも奪はるゝの不幸に立至るものである。現下吾國民が此大禍根あるとを輕視して、省みる者の極めて僅少なるは偶〻吾國の位置として、將來多種の方面に發展を行ふべき最も肝要なる元氣を不知不識の間に消磨されつつあるかを思はゞ實に慄然として寒心に堪へない譯である。

斯く齒の割合に重視され居らぬ結果其弊に冒されつゝある實例を上げんに、自分が日露戰役の際囑託を受け、氷川、廣尾兩分院に於て患者を取扱ひましたが、多き時は在院患者數前者は二千人、後者は千五百人位でしたが、其內約三百人位宛齒を診察しましたが、皆齲齒が一本乃至五六本位づゝありまして、中には彈丸に擊れて痛めたのもありますが、其多くは何れも攝生の不完全より生じた結果てありますから、實に歎くに堪へた譯てある。由來我が軍隊にありては平素齒科醫を軍醫として置くの機關を設備してありませんが、之は是非とも其設備をなし置かねばならぬと思ふのです、殊に戰役中とても多數の齒科醫が病院に居たと云ふ譯ではなく、僅々七八名しか居らなかつたのですから十分の療治を執行するとが出來ませんでしたのは遺憾てありました。之に反し米國などにあッては「ヒイリピン」群島に駐屯せる十萬の軍隊に對しても、千人に付一人の割合で齒科專門醫が附屬してあります、尤も米國は世界中での齒科術が發達せる國で「ドクトル」ばかり一萬人以上あり、又齒科大學が五十以上もありて、年々貳千人からの卒業生を出す國てすから、社會一般が齒科の大切なるとを知悉し居る結果、斯く陸軍に於ても設備が出來た譯てあります。之を吾國の斯界に對比すると、誠に心細い次第です。殊に吾國の特長たる、善良な文物の輸入に敏なる割合に、然も目前の急務として一日も忽諸に付するとの出來ない齒科醫術に限り、他の文物に比して餘りに幼稚であるとは實に撞着した次第であります。啻に撞着せるのみならず、社會が齒の良否を餘りに重視して居ないのは情ない譯であります。而して當局者即ち政府に於ても此齒科術に就ては學ぶべき方面を過ちしとあらんと信ぜらるゝとがある、夫は先年文部省より自分の友人たる石原醫學士を齒科術研究として獨逸へ留學を命じたとがありました、其獨逸の斯學は如何なる程度であるかと云ふに列國中餘りよき位置ではなく、米國の斯學に對比すると其劣れるの差が非常であります、況や獨逸に於ては年々米國へ留學生を派遣して、其學術を輸入しつゝある國てありますから、石原醫學士の派遣は寧ろ方面違と思はるゝのであります。之は多分他の刀圭術が卓越せる獨逸てあるから、齒科も無論よからうと云ふ早計なる考の結果であッたらうと思ふのですが、之もつまり吾國の齒科術を重要視し居らない原因の一ツを立證する次第であると信じます。（以下次號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



日本人の食物

水產講習所長　松原新之助

食物は國民の元氣を養ふ上に必要缺く可らざる者である事は云ふ迄もないが、其良否に依りては、國民の體力及び精神を養ふ上に於て、偉大なる關係を持つのである。食物は安價にして且つ旨き物を用ゐる事が個人の經濟上至大の利益なるのみならず、延いて國家の利益ともなるのである。元來日本人は魚食人種であるが、此人種の要求すべき、現在內地に於ける魚の價はどうであるかと云ふに、世界中殆ど第一の高價にして、歐米に比較すれば三四倍の價である。如斯高價の魚肉を食しつゝある趨勢は、或は近き將來に於て國民の元氣を養ふこと能はざるの素因となる場合があるであらうと思はれる。其所で之をして杞憂たらしめんには即ち無駄の心配であるやうにするには、家政の主權者たる主婦に於て、安き魚を選定し、且つ之を旨く料理するを講究するが、尤も必要であると思ふ。

今爰に其必要機關とも云ふべき事例を述べて見やう。自分が今より二十餘年前獨逸へ留學したとき、其頃伯林に於いて「フォルクスキューヘ」と稱する即ち平民料理會なる者が設けられて、時の皇后陛下が會頭となられて居つた。此會は、專ら料理法を研究し、依之安價にして且つ旨い者を食させると云ふ事が目的であつた。自分も度々此會に行きて、珍奇なる料理にして、且つ安價品を口にするとがあつた。斯の如き組織であるから、今迄一般の家庭に於て行はれざる料理法の下に、斬新なる食物を喫するの機會が屢てあつた。今、其一例を擧げて見ると、其會で「ミースムッセル」即ち淡菜(イガヒ)と稱する貝肉を料理して、各會員に食せしめたとがあつた、所が會頭である　皇后陛下も非常に賞美せられ　皇帝陛下に進められ、皇帝陛下御賞翫の餘り其名稱を「フォルクスアウスナル」(平民社觸)と下し賜りしとがありました。斯樣な譯であるから、自分も此方法を大いに贊し是非吾國でも行て見たいと思ッて、歸朝後盡瘁して見たが、其當時は、時世の要求がなかつた爲め成立を見るとが出來なかつた。其後日露戰爭前、再び獨逸へ行くとになつたので、今度は自分の友人の緒方博士にも相談して、此平民料理會のとを研究して來るから、共に力を盡さう、と相談を極めて渡航し、脊後機を得て、其會を尋ねた所が、前回の時とは、時世も違ふし、且つ會其者の組織も多少變更され、殊に趣旨も或る部分に於て改められ、專ら貧民の需用を滿すと云ふ風にて、全く慈善的に變り居りたるため、豫期せる研究の材料を失つた樣な譯て、其企ても畫餅となつた始末であつた。元來獨逸國は吾國と同じく年々人口が增加するので、國民の元氣養成上大に魚食を獎勵し、且つ之を實現する手段の一つとして、一方に於て畜類には課稅をしたり又「デーステミュンデ」と稱する漁港に於ては、各魚類を到る處の山間と雖も搬送する便を設け、殊に模範的魚食「レストラン」(料理店)を設くる等、專ら魚食獎勵に盡瘁しつゝあるのてある。

吾國に於ても安價にして旨き魚食法は是非之を普及したいのてあるから、其手段として魚肉の如きも、之を鯨肉、北海の大鯡、露領の鮭、鱒と云ふ樣な、豊富にして且つ安價なる者を選び、殊に此種の魚類を得んが爲には、遠洋漁業を大いに發達せしめて、依之供給を完全ならしめ、且つ各魚類の冷藏法を普及し、完全にしたならば、山間僻地ても、安價なる魚肉を食するとを得るてあると信ぜられる。

家政の主權を有する主婦たる人々は是非とも、此魚食をして安價の下に美味なる料理法を案出されて、國民の元氣養成の實を擧げ、依之個人及び國家經濟に裨益を與ふる樣努むること、極めて肝要と思ふのである。

英語の應用に就て

櫻井女塾長　櫻井ちか子

近時婦人方も語學の修養方に就ては、大いに意を用ひられて來ますする風習が見えますか、其修養もつまり學校時代には、非常に勉强されますが、其學業を終へて一家の主婦となりたる後は、自然と修養の氣も去ると云ふやうな風があります。之は種々なる事情の原由するともありますが、畢竟は婦人の弱點たる、應用力の乏しい結果てあると思はれます。能く皆さんの御話になるとてすが、「私はリーダーの四まて習ひましたが今日ては何の役にも立ちません」と云はれる方がありますが之は家庭にありて應用の途を講じない結果てありますと思ひます、其所て應用するには何云ふ方法を取りますかと申しますに、まづ料理本とか、又は育兒に關するとか云ふとを、常に原書によりて、取調べ會得するの風を習ひまして、日々の食事に要する、主食物でも又は副食物ても、皆其料理本から調理の方法を見出すとにしたならば、自然と修養せる學藝を實地に應用するとゝなります、從て今迄の螢雪の効を全うするとも出來る譯と信ぜられます。元來此頃の語學修養は、あまり餘計に頭へ注ぎ込み過る樣に思はれます、其結果頭腦から溢れ出てしまつて、全く得る所がなくなるの理合てあると信じられます。然云ふ樣な譯てすから、學校時代には隨分むづかしい洋書を繙きて、非常なる精力を費して居るにも係はらず、實際應用するの伎倆に乏しい者を見るのは、先天的婦人の應用力に乏しき上に加へて、あまりに諸般に涉りすぎたる結果、如斯多大なる精力を費したる割合に、其効果の乏しき所以てあるてあらうと思はれます。つまらん例を申し上げるやうてありますが、吾國の語學を會得する端緒を申し上ますと、彼の赤兒の時代漸く物を云ひ得らるゝ初めの內は、まづ「うまく」と云ひ出すのを、傍に居る兩親や老人などが夫に和して「うまうま」と云ひ囃す結果、遂に其語調を正しくし得られて來るので其次には「ちよだい」と云うて敎へ込み、夫れから何々と、順次に會得させ、爰に初めて邦語の完全に云ひ綴らるゝ樣になる譯てあります。外國語ても同じとてす、順を追うて頭腦に餘裕ある範圍內に於て、會得且つ咀嚼していつたならば、修了するとの割合に捷徑てあると信ずるのてす。

今や吾國も百般の文物進化し、歐米諸國と伍伴して、漸く强國に位するの榮譽ある國勢となり、且つ近き四十五年に於ては、萬國博覽會を吾が帝都に開かるゝの機運となりたるに就ては、今後外人と接觸するの機會は益々多かるべく從て語學の必要は女子と雖も決して忽にするとの出來ない時代であります。殊に愛國婦人會の如きは、其目的なり行動なりの凡てが、實に雄大であり、國家的であり、又世界的であると思はれますから、從て之に當らるゝ重なる貴婦人方も、無論それ〴〵相當の世界的御素養があり、又交際的技量もあらるゝとは、今更私の云ふを俟たざる次第てあります。然し語學の素養は亦格別て、總ての方々に望むことの出來ざるは勿論なれど若き御方や特別の御志のある方々は、爰に語學の修養を御心懸になるのは、尤も急務と考へるのてあります。其所で語學の修養方法として、一文章會やうの如き者を設立して、一週に一回若くは二回づゝ會合して、一文章短句の者を會得しつゝ行つたらば、今より四年先きの大博覽會開設までには、ずゐぶんの語學修養が出來得て大いに自身に資益する處が多かるべしと思はれます。無論貴婦人方の內には、其多くは語學の御修養もあられませうけれども、其あられる方は御素養のない方に御敎へになり、御素養ない方は知られる人に就きて、御敎示を受けらるゝと云ふやうにしまするとして、是非とも前述の如き會合の、有用に開かれんとを希望に堪へない譯であります。

育兒のしをり

ドクトルメヂチーネ　長井岩雄

五官器の保護

(九)耳の攝養

先天性の耳病は如何ともす可からず、されど生後種々外來の原因にて耳病を起すこと尤も多く、例へば、分娩後入浴の際水液耳中に入り、或は塵埃異物の箝入刺戟に由りて、耳の病を誘發するとは、日常小兒科醫の見聞する事實にして、尤も注意すべき件なり、殊に多きは外耳、中耳の病にして或は時として炎症を起し或は耳漏となりて、絕えず分泌物流れ出づる事あり、俗に之を耳漏と云ふ、此病は多く中耳の病にして、荏苒治せざるときは、遂に鼓膜穿孔し、甚だ難治の症に陷るのみならず、夫より段々黴菌浸入し、或は炎症蔓延して、內耳の病となり、又屢々腦膜炎となり、危險の症狀に陷り、遂に生命を危くすることあり、されば、小兒耳の病は、いつも病症增進したる後、始めて發見すると最も多し、如何となれば、最初はほんの耳漏位にて、格別の徵候を呈せざればなり、依て日常豫防に注意する事最も必要なり。第一初生兒に湯浴をする時は必ず耳中に少許の綿花を入るゝ事を忘る可らず、また初生兒に限らず、小兒耳中に水分入りし時は、紙のこよりの尖に綿花を卷き込み、それにて靜に水分を吸ひ取る可し、又耳垢溜りしとて、簪其他のものにて無闇に掻き取る可らず、之れ鼓膜を毀損するの虞れあればなり、其他素人療治に色々耳中を洗滌するは禁忌なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

蟲の音（承前）

堀内新泉

「乃公が初に東京を發つたのは、今月（八月）の二十三日午後三時幾分新橋發の神戸行急行列車であつたが、はや最う新橋を發つ時から雨は瀧のやうに落ち、風の力も大分強い、此奴は面白く無い天氣に出會かつたなと思ひ／＼行く中、汽車は鶴見、平沼、程ケ谷、戸塚と進むに從ひ、空は愈よ暴れ模樣、此奴は惡くすると、途中で汽車が立往生するやうな事に成るかも知れぬと、また案じ／＼行く中に、はや大船に着いて見ると、見渡す限り青田は何處も一面の湖水、馬入の鐵橋に懸つて見ると、最う軌道と水との間が一尺ばかりしか空いて居らん、國府津邊で日が暮れて、函根の隧道に懸ると云ふと、幾てかの谷川を呑んでは下り、呑んでは下る酒匂川の上流は見る間に沿岸の土堤を崩し大石を轟々と轉がす程の大洪水、加ふるに天地も爲に振動する程の大雨大風、その物音の凄さと來ては男も身の毛の彌立つばかり、その中に肩ても引裂くやうな聲を立て、絶えず鳴る汽笛の音は、沿道の山から山に響き渡つて、まるで人間の悲鳴の聲！まあ此處邊で一杯注ぎ給へ」

「まあ、何んなに凄かつたでせうね！」

「話はこれからだ：て、まあ、辛の事で小山に着いたのは最う彼此九時近く。所が警報、最う小山御殿場の間が不通に成つた！さあ、此奴は大變だ、こんな日に汽車にでも乘らうと云ふのは、何れも急ぎの用事を有つて居る人々に違ひない！併し、不通とあれば、これも時の災難で、何うする譯にも行かないが、何時向うに行けるとも分らんのに、空しくこんな所に居るのは詰らんと云ふ乘客の不平、ちやア一先汽車を新橋に返すと云ふ事に成り、はやその準備をして居る所に又警報！「最う小山新橋間も不通に成つたとの事。仕方が無いので乘客一同、心細くも立往生。急行の事故客は大勢、腰かけた儘で一夜を明し、夜は明けても暴風は止まず、一同殆ど食はず飲まずて約一晝夜間小山に止り、翌日の夕方辛と沼津に着いたは好かつたが、鈴川岩淵間が又不通。爲事無しに沼津に下りたが、既に一萬人以上の避暑客が入込んで居て、有ゆる宿屋素人屋を占領し盡して居る所に、東海道上下の客がドツと此處に下りたので、一髮容れる餘地も無い。その筋の盡力で我々の一隊は辛く土地の小學校に避難したが、旅客の五分の一も入り切れぬので、土地の寺院に割當てられる事に成つた。乃公も四十餘名の人々と一寺院の本堂に入つたが、食物は間に合ず、水さへ飲めず、いや最う實に無慘至極！中にも哀は子供連の女老人、數多の客の中には、一枚の赤切符を買つた外には、何程の金も持つて居らぬと云ふ連中も少く無い。其等の人の心細さは思ひやられた。さて宿所は寺院と定まつたが、蚊帳が一張あるで無し、枕が一つ出るでは無し、野宿に幾何も勝らぬ有樣加之に寐るべき餘地も無いので、坐つた儘にコク／＼と居眠をする丈の事苦しかつたぞ、お注がぬか」

「まあ、皆さん何んなでしたらうね！」

「何樣多くの人息で蒸暑く、蚊はワンワン遣つて來る、到底も眠られた者で無いので、其處でも彼處でも話の聲。中には商人あり若い男女の學生あり、軍人あり官吏あり、婦人あり子供あり老人あり、何れも諸國の人々で、千差萬別、話は區々、向うの方で十歳ばかりの娘を連れて居る一人の婦人が、故郷を問はれて涙含み「私は鹿兒島の者でございますが、良人が奧州の方に參つた切歸つて參りませんので、今度娘を連れて會ひに參りますと、最う當地には居ないと聞いて力を落し、スグ引返して歸る途中に、こんな酷い目に遭ひまして」と云つて居るかと思ふと此方では商人體の若い男が「私は阿波の德島ですが、商用の爲に東京に參つて居りますと、母が病氣で危篤と云ふ電報が參りましたんで、取敢ず昨日の夕方發ちますと、この通りな仕末でして」と話して居る。すると又一方では、私は秋田縣の者ですが、支那に行つて居つた弟が病氣に罹り神戸まで歸つて來て入院し、何うもむづかしいと云ふ便を聞きまして、斯うしてまあ老母を連れて出かけましたが、實にはあ困りました」と歎して居る。何方を向いても氣の毒な話[illegible]所が又一つ、哀な現狀を目撃した。夜の更けるに伴れて、つひ眠り、太く蚊に食はれて目を覺すと、自分の前に坐つて居た年齡の頃三十二三に見える婦人が、小な行李の上に半紙を延べて、鉛筆で手紙を書いて居る樣子。見ては氣の毒だから、また目を閉つて眠た振をして居ると、一筆書いては泣き、泣いては又筆を續けて居る。これには定めて深い事情が無ければならぬと思ひ、書き終つた頃に目の覺めたやうな振をして、色々事情を聞いて見ると、世には氣の毒な人もあるでは無いか。その婦人は上州安中の生れで多年東京住居をし、或る官吏の妻に爲り、今年七歳に成る娘の子を長にして次は四歳の男の子を擧げた年に、連合は二人の子供の外に、今年六十幾つと云ふ老母を遺して四年前に死んださうだ。所が財產と云つては無し、幸ひ裁縫が巧いので、まあ何うか斯うかして居つたが、今年の四月から七月まで病氣に罹つて、まるで休んだ爲に酷く生計に困つて居ると、今度或人の世話で、九州邊の或る女學校に教師に雇はれ、僅の旅費を貰つて行く途中に今度の災難、それ丈ならば未だ好いが、子供と老人丈を殘して置くのは氣がゝりだから、一緒に行きたいは山々だが、察するに旅費の工面が着かぬので、可愛子供を後に殘し、切ない生別れをして來たものらしい。それで今後家族は何うするかと聞いて見ると、向うに行つて二三箇月も稼ぎ、旅費の出來た所で呼ばうと云ふ譯なんだ。家族は何處に住んで居るかと云ふと日暮里、土地が低いので、この降では定めて家は水に浸つたであらうが、自分が居なくて嘸困るだらうと思へば、家の事が案じられて飛んで歸りたいやうだと云ふ。それ丈ならば未だ好いが、今日停車場で人波に揉まれ揉れて出た時に、新橋神戸間の切符ぐるみに、それから先の旅費を盜られたか遺失したか紙入毎に無く成つて、假令鐵道は開通しても、先に行く事も後に返る事も出來ぬので、途方に暮れて居ると云ふ」

「まあ何んと云ふお氣の毒な事でせう！て、その方は如何成さいました？」

「たゞ他の話として聞けば其切だが、我れも可愛妻子を有つ身に引比べて染々聞けば、知らぬ顏もして居られぬ。て、まあ色々慰めて、それはまあお氣の毒な事ですが、何に旅は道連とやら、幸ひ私もこれから神戸まで行くんだから、御一緒に參りませう。何は扨置きお小いのやお老人を後にお置きに成つては、向うに行つて居らしても何かに就けて御心配でせう、これを御縁に、今度私が東京に歸りましたら、早速お宅に參つて、その邊の事にも及ばずながら御相談相手に成りませうと云ふと「有難うございます」と云つて、婦人は唯々泣く一方。で、まあ、その翌日の午後に成ると、西行の汽車丈は通るやうに成つたと云ふので、早速その汽車に伴れて乘り、神戸以西の旅費も心細く無い程持せて、神戸の停車場で別れると、向うは窓から顏を出し、眼に一杯涙含んで、乃公の方を拜み／＼西に行つた」

「まあ、良人、善く、お世話をしてお進げてした！」

「乃公は社用を果して、スグ引返して來ると共に——まだお前にも云はなかつたが——早速日暮里に訪ねて行くと、婦人の想像通りに一面の洪水、辛の事で捜當て、まあ、非常に忙しい思ひをして、今度行く時神戸まで三人共我が家族のやうにして連れて行き、向うも俄では困るだらうと思つたんで、茶屋酒の一つも飲んだと思ひ、旅費の外に金の二十圓も持せて、婦人の宿所はまだ分らんので、向うの學校に充て、遣つたが、この電報で見ると、一家料らず再會して、母は可愛我が子を見、子は可懷しい母に會ひ、今は嘸喜んで居るだらうと思へば、乃公は何んと無く今夜の酒は身に着くやうだ！アヽ愉快！愉快！これ式の事を以て慈善などゝは云はれぬが、人間相互の義務は稍果したに近いと思へば、惡い氣持はせぬはなア！」

語り終つて、さも心地快げに主人は微笑し、

「何うだ卿は、こんな土產では嬉しく無いか」

「否、最う何より結構です！善くまあお世話を成さいました……」

心から喜び、雪のやうな腕を延べて、注げば主人はぐひと飲り、無言の中に顏色照々、見渡す庭の萩原には、はや凉しい初秋が訪れて、今蟲の音が一としきり。（終）

大日本女學會事務所
移轉廣告
今般左の通り移轉いたし候
東京青山原宿二百十番地
（青山四丁目電車停留場より僅に三丁許り）
大日本女學會
電話新橋千八百三十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

傳記

登美宮（中）（接百三十一號）

筑山

▲水野越前と藤田東湖　天保十一年に烈公は國に就いた。これは水野越前守が敬遠策であつた。丁度水野が閣老の椅子に凭りて、所謂天保度の政革をやりかけた。何分烈公は剛邁俊爽の資を負うて、當時天下の副將軍を以て目せらるゝ御三家の尊きに居らるゝから、烈公が江戸に在ると兎角意見が多くて、水野も手足を拘束せらるゝので、やり切れない。そこて、御襲封以來御國許の御政事も、段々刷新せらるべきものが澤山あられやうと思はるゝ此際は、將軍の思召もあらせらるゝことであるから、一つ天下の爲めに、水戸の御政事向を十分に遊ばされたらよからうと云ふのてあつた。烈公も其眞意を知らぬてはないけれども、上意に爭ふべき言葉がない、加ふるに烈公自身に於ても、襲封以來、積習を一洗したいといふ御考を持て居られたから、封地に就かれたのてある。幕府の制度として諸侯の奥方は江戸の邸に置くことゝなつて、藩地に伴ふことは決して出來ぬのてある。然るに其時分宮はまだ三十前後の御年齢てあつて、御結婚以來、未だ歳月もさう立たないからして、江戸の藩邸に孤鸞獨鳳の御境界に置き申すに忍びんといふ、藩臣の考へて、特別の御詮議を以て、藩地へ御伴ひ申す事を御許可なりたいと閣老へ願ひ出た。その時の使者が藤田東湖て、相手は誰あらう、水野越前守忠邦てあつた。其の談話の模様といふものは、實に龍虎の相鬪ふ如く、兩横綱の勝負を觀るが如く、何と云へぬ妙味がある、ツマリ東湖は幕府御制度の御表は御表として、こなたは御三家て、且つ御簾中はやんごとなき御方てあらせらる、一般諸侯の夫人に對せらるゝとは、其の御取扱を別にして、特別の御詮議に預りたいと、ゆつとりとした、しかも貫目のある辯舌で滔々と述べる、越前は、天下の大法は天下の大法てあつて、親疎尊卑を以て二つにすることは出來ない、御三家御三卿と申す樣な大切な御家柄ては、猶更幕府の制度を固く守つて頂かなくては、政法の威信といふものは、全く地に墜つることゝなるのてあるといふの論旨てある。

東湖の請願は越前が右の論鋒で拒絶せられたけれども、其迂餘圓滑の辭は、慥かに東湖の傳記を飾るに足るの價値がある。

▲北海移住の準備　烈公は藩地に就かると共に、弊政を釐革し、有司を交迭し、井田の法によりて境界を正しくし、武備を擴張して、海警に備ふるなど、頻りに治國安民の策を講ぜられたが、水戸は實入りの悪い土地てあつて、三十五萬石といふもの、收入は其の三分の二ほどもない、そこて烈公は封を北海道に移されて、荒土を開拓し、富源を増殖して、身を以て北門の藩屏に當らむことを幕府に請願した、一日この事を宮に計られたが、宮は、花軒香車の御外は踏みもならはぬ御身を以て、雄々しくも夫の君に從て北海の蠻烟瘴霧を分けむと、御決心せられた。即ち蠻地生活の御用意として、體軀と精神との修養を兼ねて、指も墮つるといふ寒中に毎日侍女を督して、雪中に薙刀を揮ひ、また乘馬の術を御稽古になつた。

▲妊娠中の養生法　烈公の此の議は、またしても、例の我儘が始まつたといふ風に、兎角天下に事なかれ主義の幕閣の爲めに沮止せられたが、其内宮は公子慶篤を御妊娠になつた。時の將軍家慶公の夫人樂宮は、有栖川宮織仁親王の御息女て、此宮の妹宮に渡らせらるゝからして、御妊娠と承はるより、ただ御身體を御自由に遊ばされ安穩にせらるゝと、却て御母子の爲めによろしくないといふのて、箕帚を御賀詞に添へて贈られた、これはこの箕帚を以て室内を掃除せられ適當の御運動をなさるる樣にとの御意てある。宮は答へて、思召はまことに辱く侍れど、自分は武將の妻として、或は薙刀を揮ひ、或は馬に跨り、聊か治に居て亂に處する心掛をも致し來りました、妊娠中の心得を以て、素より適度の運動を怠らず致して居りまするから、どうぞ御心を休めらるゝ樣にと申した。

▲萱堂への看護　烈公御謹愼中に於る宮の御美談は、頗る尠なくないが、割愛するとして、嘉永六年に烈公の生母外山氏が御危篤との報知が水戸表から參つた。此の時は、烈公は隱居の身の上てあるから、宮を伴ひて、とるものも取りあへず、藩地へ歸へられ、御夫婦して看護に力を盡されたが、宮は至誠心を勞し、三晝夜の間、所謂衣帶を解かず、湯藥を必ず嘗め薦められた、侍女達も餘りの事に却て恐入て、御諫めを申上ぐる程てあつたとの事てある。（未完）

高尾の山ぶみ（其二）

伊藤つ・る子

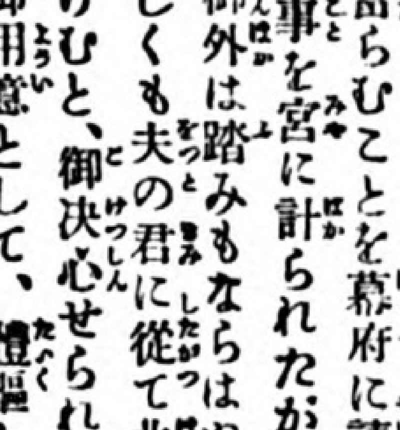
是よりは下り道になりぬ、師の君の御元氣似るものなし。ドッコイショの御掛聲も今は絶えぬ。御社の大前に天狗二ところ控へまします、天狗と云ふ者何とやうひ聞てゆべき、明神とも菩薩とも未だ聞かず、樣と云はば世の人めきたり、からす天狗と般若の面に似たると、必ず二た處並べたるは、男と女とにもおはすにか、人間の女は口さがなき者なれば、嘴尖りたるは女天狗にましますべしと思ふは誤にや。大殿の右の扉に、墨色あざやかに、淺川發上りなど汽車の時間筆太に記したる、高尾の山の奥も世と共に進むらん樣、さすがにみゆれど、今すこしみ社守りは物心得て貼れかし、かたじけなくも當山の御本體安座まします大殿の扉ぞかし。

蕨の生ふる野は見晴臺と云ひて又この上の山なり。案内者の役目もこれよりぞと、かのほこらしくの給ふ、まことに山路らしき山路にして、踏み行く道は木の葉の幾年を知らずふり積りたるに、茂りあふ若葉の梢左右より行手をふたげて枝さしのべたる、新樹の香いはん方なし。いまだ父君の御座しまし、世、兄君と三人時も同じ葉櫻の頃なりしよ、此の山路に分け入りて、登り行く道を違へて、何時と知らぬ間に、かなたの里近うたどり行きつるを、笑止と其程の笑ひ草にしけるを、今思ひ出てゝは何となう胸つとふたがる心地して、ありし世の取りかへさまほしうて、自ら色にもあらはれけんを、恥かしと心付きて、ふと聞つけし鶯の聲に、天晴時ならぬ聲の美はしさよと、ほゝゑみて友の肩打ちたる、いつの世に覺えたる心の僞にやあらん。（未完）

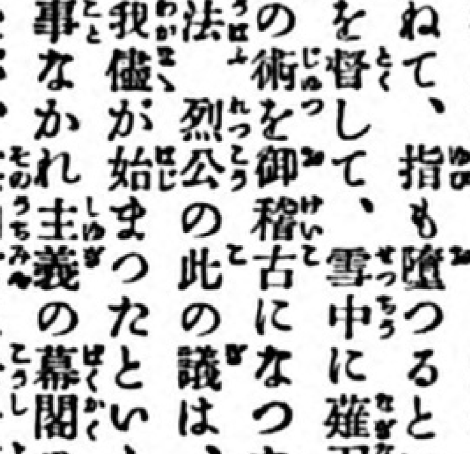
ローヤル水の外に斯の如き多くの特色ある化粧水ありや？

毎朝洗面の際數滴のローヤル水を湯或は水中に投ずれば「ハードウヲーター」（硬水）を「ソフトウヲーター」（柔き水）となし水の爲に皮膚を害ふの恐なく其芳香は快感を與ふ

(1)



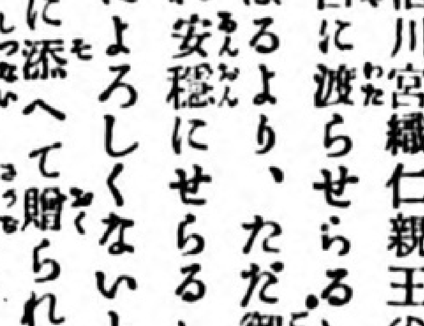
(2)



腦の働きを敏活ならしむ

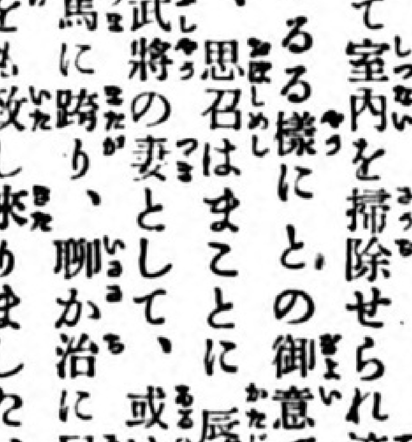
白粉を塗らんとする前にローヤル水の少量を白粉下に使用せば恐るべき白粉の害を防ぎ白粉ハゲ又は白粉の爲に顏に「ヨゴレ」を生じウス黒くなる等の憂なく能く其の美を保つ可し

(3)



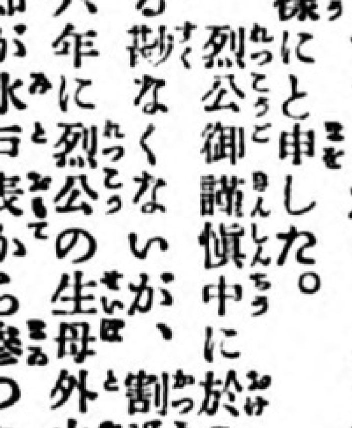
マッサージクリーム使用後又は顏面マッサージ施術後にローヤル水を用ふれば其効力一層顯著なり

(4)



外出せんとする際數滴のローヤル水を使用せば日にやける事なく又汗のために白粉のハゲる事もなく特に汗により生ずる一切の病を未然に防ぐ故に旅行家避暑客には必要缺ぐ可からず

(5)



シェービング（顏剃）後ローヤル水を使用すれば最も快く且剃刀負け其他之に由元する皮膚の疾病を防ぎ最も愛す可きコノノレリション（皮膚）となる

改正定價大五拾錢中卅五錢小廿錢郵税八錢郵券代用一割増販賣店は全國到る處の化粧品洋物小間物賣藥店にあり

發賣元　東京銀座壹丁目　佐々木商店　電話新橋四七二番　振貯三二二〇番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

文苑

短文　編輯局同人選

秋の夜（一等）

京都　花輪余志野

秋は來つれど、殘る暑さを凌ぎかねつる折しも、雨になりたる凉しさを、またなく喜びしはかりそめのひまにて、をやみもなく打續きたる大雨の爲、今は水のうれひをかこつ聲到る處に高し。今宵も、東都の友より送りおこせたる新聞よむに、凄慘たる被害地の有樣、偲び見るだに心もいと安からず、そぞろに同情に堪へがたし。昨日までは豐かなる秋を樂しみゐし里人が、けふは思はぬ災害に泣き暮らすらん。夜の闇もの凄くきらめく星は、まがつ神のをかせし下界を冷やかに見下すが如き心地して、わびしきに獨り淸々しきは、千草にすだく蟲の聲々のみ、さはあれど、まとふ衣までも失ひし人の上を思へば、なか〳〵恨み多くぞ、聞きなされてなむ。

評曰　秋のあはれいと深し

同（二等）

廣島　天野ちゑ子

ちいちやん、出た〳〵今度の文題は、秋の夜だ、どうせまた沒書の組だらうけれど、お稽古になるからかいて御覽、ちいちやんどんなよとかくの、とおやさしい兄樣の御聲なんとなく打しづんだ、さあネーと、緣側にたゝずむと、なに忍とやきぎすの聲しきりに、月は恰かも冲天にすみ渡りて、げにしんとした秋の夜だ、おゝさう御父樣と兄樣と、かたみに笛を御合し遊ばしたのも、御父樣と停車場で御別れしたのも、はや四年の昔、丁度今宵に似た秋の夜であつたと、急に萬感にせまつて、思はず兄樣とかへり見ると、早やどつかへ行れたのか御姿が見えない。堪へぬ想のまゝ大空を打仰げば、今まてさえ渡つて居た月に、いつしかむら雲のかからんとし、小夜嵐ふき來つて、其風美しい垣根の白萩をゆすつて居る、其に誘はれて何處よりか聞ゆる詩吟の聲、「秋思詩篇獨斷腸」嗚呼兄樣も私と同じ思ひであられるかと、知らず〳〵にむせぶ涙が、衣手のいと露けきや。

評曰　斷腸の思ひ

同（三等）

山形　阿部さゐ子

單衣に玉の汗を流しゝ夏の暑も、今は其名殘だに止めて、草むらにすだく蟲の聲いとあはれに、衣手寒くなりまさりし秋の夕、折しも冲天にかゝる月は雲間をはなれて千草の露に宿れり、いと艷なるまゝに端近ういざりいでゝ眺めけり。其かみ曾て都にありし時、共にめでて、かたみに歌ひし友どちの、今はいかに暮してあらん、學了へて歸りし時は、惠も深く情もあつき父母のお膝下にて、一家の團欒げにたのしうおぼえしも束の間、今は早や父に別れ、病みがちの母のみなるを、嗚呼幸なき此身の上、そゞろに戀しき東の友びとよ。

同

京都　松岡星代子

月になく雁がねの、消えゆく影を見送りつゝ、拙なき浮世を他所に、天にかこちて、長き夜の恨みを獨に泣く我、庭淺茅生に泣く、啾々たる蟲の聲を聞けば、情思轉た切なり。此秋はと契りし友はいかにかますと、遠く西南の空を望めば、奇しや衛星の一つ、異なる光して輝き、沁み入る如き美妙なる感興を我に與ふ。あはれ我思ふ友の靈魂や、この星と化して、我胸に入りにけん。秋に深く夜は漸く闌なり。

同

鹿兒島　藤野錠子

アレ〳〵お母樣、まんまるいお月樣が。と子供の聲に小窓より眺むれば、げにまるいお月樣が、今山の端を離れんとしてゐる、其樣の得も云はずなかしきよ、あまりの淸けさに恍然としてゐた。空を仰げば一片の浮雲もなく澄わたり、月は皎々と光を放ち次第に中空に上るのであつた、庭の園生には鈴蟲がまことに淸い聲をして鳴いてゐる、子供は緣側で「お父樣お母樣早く出て御覽よお月樣がまんまるく」の唱歌を歌つてゐる、嗚呼秋の夜のきよらかさ靜けさよ。

俳句　內藤鳴雪大人選

秋季雜題

天　秋の夜の思ひは古し奈良の宿　東京　中山正子

地　垣間見や葬の花によそ心　東京　栗原花園

人　雞鷄の片言鳴きや今朝の秋　東京　加藤ゆき子

○

大漁の響に散りし柳哉　東京　松田重子

月代に尾花が露の光りかな　東京　中山由子

もろこしの枯葉に冴ぬ二十日月　東京　中限富士子

豐年の秋やねずみのあれまはる　岡山　坂田清子

釣り捨てし麻網の上や桐一葉　三重　円山ひさゑ

秋立つや身幅にあまる唐衣　三重　莊司種

長き夜の寐ざめ〳〵や蟲の聲　愛知　下郷きみ

富士遠く見ゆる芝生や今朝の秋　山口　鶴田眞

鶴の鳴き聞きけり霧の海　京都　山本千代子

長兵衛の男上げたり唐辛　東京　中山正子

女郎花たが折すてゝ秋の原　東京　鈴木榮子

そよ〳〵と竹に渡るや秋の風　東京　栗原花園

風を待つ千石船や渡り鳥　青森　吉田安子

草負うて歸る山路の紅葉哉　東京　中山由子

旅僧の麻のころもや秋の風　山口　末田竹子

糸萩や井をくまんとて結ぶ枝　東京　彥坂たき子

西行に似たる人行くすゝき哉　東京　秋元小菊

初雁や妻戸に立てる文使　東京　鶴岡とく子

秋の山錦繪の如く横はる　栃木　荒川みせ子

秋のてふ名ごりを闇の小庭哉　東京　村岡きく子

閨中につめたき夢や秋の雨　群馬　木暮千代子

秋風やひらめく鞘の長畑　愛知　下郷すゑの

くれなゐの笠の紐しめる淸水哉　山形　芳賀ます

語らはん友よこよひの月明かし　愛知　市橋鶴子

胡蝶の夢驚きぬ秋の聲　京都　山本千代子

和歌　佐々木信綱大人選

霧

天　おほつかなたどるすゑ野の夕霧は雲の上ゆく心地せられて　東京　淸岡忍子

評　黄昏の野末の霧の海分けゆくはまこと果敢なき限なるべし

地　霧ふかみいつれ里とも分ねともかねの音聞ゆ寺やあるらし　愛知　下郷すゑの

評　霧に鐘歎に佛とやらむいふ如く此鐘の音いかに嬉しく聞きなされけむ

人　そか母かやむ子を負ひてくすしがりいそぐ山路に夕ぎりぞ立つ　青森　笹田正野子

評　三句原作くすりかひとありくすしがり即ち醫師の許にといふ意に改めたり

秀逸

朝日子は大海原に湧出てゝ霧に消行く久能の神山　靜岡　小川須磨子

よひかはす聲はとゝけと友ののる小舟はきりに見えすなりにけり　山形　阿部さゐ子

たちこめし朝霧ふかく舟人のこゑのみ下る利根の川つら　京都　古川よれ

霧かくれおろす筏は影見えて舟歌たかし宇治の川上　廣島　天野ちゑ子

早稲田かる賤の少女かたもとよりまつたちそめぬ野邊の朝きり　山口　末田貞節子

朝またき見れはみなれし山もなし大かた霧のたちかくしつゝ　山口　末田竹子

大原女の花うる聲ぞきこゆなる霧ふかくして家わかれど　京都　君子

ほゞ近き嶋さへ見えす霧の海にあやふくかゝる有明の月　東京　小宮とめ子

追分の歌のみ高く聞ゆなり朝霧深き山の細道　青森　留目文子

霧深き中をわけ行く一人旅見送りし友今はいづくに　岡山　坂田きよの

谷川のほとりの小屋の水車おとのみ高し霧ふかくして　福岡　松村壽賀子

ふびやにゆくうなゐ子のうしろかけみる〳〵つゝむけさの秋きり　京都　花輪余志野

眞金路に音を殘して小車は霧にきえゆく朝ぼらけ哉　愛知　下郷きみ

うなゐ子はいまかへるらし立霧の中に唱歌の聲のきこゆる　愛知　山內經子

秋霧嗣ふなとめ桑つむ聲はすれとそことも分かず霧ふかくして　愛知　市橋鶴子

甲

遠村の賤か伏やも霧こめてすみゑに似たる夕まぐれ哉　新潟　阿部ひで子

山風に晴れゆく霧の絶間より燃えいつはかり見ゆる紅葉　鹿兒島　藤野錠子

はてしなき秋草の野をたとり來て夕霧わたる川も見る哉　東京　渦川りき

背の君と艫にわかれてかへりくる解おなかれゆふきりの海　東京　森澤よし子

姉君を送りて歸る我袖のおもはずしめる今朝の深霧　岡山　坂田千[illegible]

うすもみち霧に色ます山のはのはゝまに〳〵紛日さすなり　岡山　西村長子

入り殘る月さへあはくかけ見えてしくものもなき霧の明ぼの　愛知　渦淺登代子

大磯や小磯の海のあま小舟霧の中ゆくこゑぞ聞ゆる　福島　横川かれ

わらへらの聲そ聞ゆる霧ふかき山路にけさも子うしおふらん　群馬　伏島たき子

秋草の花さき匂ふ野をゆけは霧たちこめて袖の露けき　東京　萩原さた子

朝たちの友に別れて見おくれはにくゝも霧のへたてける哉　大阪　金田鶴

夕つ方友の庵りを尋ぬれといつこをわけん霧の八重垣　靜岡　青木きぬ子

野邊みれは霧の中にもほの〳〵とみだれてなびく花すすき哉　東京　麻生歌子

風の子か落栗ひらふ聲はかりつゝみのこせる秋の夕霧　愛知　横井初子

分けのほる路もあやふくおもふまてたちこめてけり谷の朝きり　山口　鶴田眞

しほ煙り須崎の松に立そめて夕霧ふかしかへる船歌　東京　中山正子

朝風にさまよふ宇治の川霧をおとなき波のたつとそ見る　京都　池田美登

いやが上に包みて燃ゆる紅葉山いろくれなゐに夕霧立も　東京　小林芳

蛤の氣にゆれ出てて乙姫かみやにまかへろ朝霧の花街　青森　吉田安子

都への友を見送るあせ道に朝きりこめて見えすなりぬる　青森　津島りゑ

乙

はる〳〵と見渡す稲葉霧ふくみ秋の夕にきりぞ立ける　岡山　坂田清子

入相の鐘を包みて夕霧の音のみもろゝ峰の古寺　三重　莊司種

霧こめてすゝむさきをわかたぬはなきたちからのなけきなるらん　兵庫　山本榮

朝日さす高嶺ははれて秋霧の山里わかず立ちこめてけり　岡山　西村清子

浦近く螢の烟と見えにしはやかて晴行霧にそ有りける　東京　土師利根子

夕霧に立ち迷ひつゝ螢の子か友よぶ聲の哀れなりけり　東京　松田重子

掲けたるぬか額文字と潮かしら見えわかぬなり霧の宮島　三重　四山ひさゑ

朝霧に社の旗も見えわかてまうずる道に子らが聲する　三重　四山數子

高砂の島に立つ霧新高の山のはぎさへつゝみかれけり　三重　四山數子

入日影見るべかりけりあかれさす山にふもとのきりの浮浪　岡山　貝原すゑ

朝霧のふかき思ひのほともなくはれし野の花のいろ哉　岡山　貝原保野

もの音のひゝきもなくて朝きりは山ぢふかくもかくしける哉　神奈川　鈴木まつ子

朝な〳〵霧たちのほり門田もろかゝしのかけもかくれけ　大阪　金田ひさ子

霧深き吾かかくれ家は秋はなほ浮世を外の心地こそすされ　群馬　井田しま

まく〳〵の虫のなく聲身にしみて霧たちわたる秋ぞさひしき　京都　渡邊時子

淡路しまきりたちこめてさよ千鳥月や恨むる友やよひかふ　東京　中限富士子

鳩のなくあたりに神のいますらむ朱の鳥居の霧にほの見ゆ　岡山　武田須磨子

和歌、俳句、短文、新體詩募集

回數	種類	題	選者
四一	新體詩	隨意	編輯局同人
五五	短文	野外散步	同
三四	俳句	秋季雜題	內藤鳴雪
六四	和歌	菊	佐々木信綱

注意

一　締切十月五日限　發表十月廿日

二　一、二、三等當選者には例の通り扇子其他の物品を贈呈すべし

三　用紙は繪葉書に限る但し新體詩、短文は普通葉書のこと

四　投吟は各種類一章又は一句に限る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

● **一森式座椅子**　特許第九〇二〇號

△本品は一個にして座椅子となり寢臺となり疊み込めば縮少して携帯に便なり
△本品の特色は織物と螺旋枕とにて身體を支ふるにより心地誠に宜しく老人、姙婦、各種病人に慰安を與ふるにあり

價格

上等エナメル塗更紗蒲團付キ　金六圓五十錢　以上各種
上等エナメル塗メリンス友禪蒲團付キ　金七圓五十錢　以上各種
最上等エナメル塗唐草蒔繪　最上等友禪縮緬蒲團付キ　金十八圓　各種

（本品は高輪電車停留所前◉東京日々新聞社前◉三越呉服店ニ陳列ス）

製造發賣元　東京市芝區下高輪町廿一番地東禪寺電車停留所前（電新橋三〇六五）　樂民堂
關西一手販賣　大阪市西區土佐堀裏町六十八番屋敷（電話長一八二三）　常盤商會
特約店　東京　大阪　三越呉服店

[illegible]告切取御申込被下度候

東京勸業博覽會一等賞牌受領

東京市日本橋區横山町壹丁目拾六番地
天野卯兵衛商店
電話浪花一六四三番　振替貯金口座四九七〇番

◉ **珍ら敷新輸入品**　最も日本婦人に適應し而も皮膚の營養滑澤に實効ある

佛蘭西新式　薄化粧料　煉白粉代用品

本品は水又はぬるま湯にて顔を洗ひたる後小量を手のひらにて萬遍なくぬり摩擦すれば實に名も云へぬなめらかによきつやを出し香氣よく自ら精神を爽快ならしめあれを防ぎ白粉やけ又は皺のよる憂なく、最も斬新良好なる薄化粧料として紳士貴婦人間に高評あり

●定價　一瓶三十五錢　賣捌所は全國到る處の賣藥小間物化粧品店にあり

發賣元
東京日本橋本町二丁目
チエリーオイル本舗
高橋初次郎
（電話本局四一三番）

夏季の化粧と顔面の保護

荒れた畑には野菜が作れない道理であれた顔面にお化粧はうまく出來ぬ。化粧は婦人のたのしみですから平素から顔面や肌膚に手入をして置ねばなりません

▲皺の豫防　顔面に皺の出來るのは生理上已むを得ない事ではあるがこれを防ぐには平素から化粧の心掛が肝要です脂肪の減少から皮膚に餘剰が出來るのが即ち皺て、皺の豫防は脂肪の減少を防ぐのが第一ですが最も容易い方法は毎日心掛て皮膚に特効のある濃厚化粧水『御園四季の花』をつけて。乾いたら手拭を堅く絞つて拭きとりその上へ『御園とき水』をおつけなさい

▲にきびの豫防　妙齡になつて體に脂肪が充滿て多過るとにきびが出來る。これは毎日一二回宛顔面を洗つて『御園四季の花を』塗り。乾いたら堅く絞つた手拭てふきとりそして『御園とき水』をつけて『御園なでしこ』で度々顔をお拭きなさい

▲顔面のてか〳〵するは顔に脂肪が多過ぎるのですから顔面を洗ふた時には『御園とき水』をつけてお置なさい。そして『御園撫子』で時々顔をお拭きなさい

▲顔面が爆々になつて色つやのあしきは矢張り脂肪が足りぬのが原因て。顔を洗つたら『御園四季の花』を塗つて居れば知らぬ間に艶々した顔になります

▲日に焦けた時　には度々顔面を洗つて『御園四季の花』を塗り、乾いたら堅く絞つた手拭てふきとり。そして『御園とき水』をおつけなさい。夏季は汗や脂肪が多く出ますから度々『御園なでしこ』で顔や肌膚をお拭きなさい

▲化粧に使ふ水　水には軟水と硬水と二樣あつて石灰質を含んだのを軟水と云ひ石灰質を含んで居ない軟らかい水を軟水と云ふので、肌膚の爲には硬水は宜くないのですが熱せば軟水に代りますから化粧に用ふには少くとも微溫湯にした方が宜しい。總じて水でも湯でも用ふ時には『御園四季の花』を滴して御用ひなさい

▲かくし化粧　化粧は自分も『美しい』と想ひ他人にも『綺麗だ』と快感を起させるのが主趣て。男子でも婦人でも化粧のたしなみと云ふとを忘れてはなりません目立ぬ樣に化粧するには『御園四季の花』をつけて乾いたら堅く絞つた手拭てふきとり『御園とき水』をお用なさい

▲定價は『御園四季の花』が壜入て廿錢に五十錢。『御園とき水』が壜入て十五錢に五十錢。顔ふき用の打白粉『御園なでしこ』が十錢て全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋品店で賣捌いて居ます

● **英語學教授**　牛込下宮比町六　新歸朝新教授法斬新
女生ノ寄宿ヲ許ス
バチエラー オブアーツ　北村美那子

御髪あらひに付て御婦人方に告げる

新派女俳優　**川上貞奴**述

日本でも西洋でも御婦人方の美容いのは御髪の艶の良く丈の長いのが第一だと存じます此良い髪を持ち又腦力を増ますには御髪を粉ふ事が肝要かと留ひます之れを怠りますと穴毛が塵垢の爲めに塞がれ終に氣鬱、ヒステリー、頭痛等種々な病氣を釀します私は先年歐米を巡遊致しました節此事に付き良く氣を附て調べて見ましたが西洋婦人は少さい時から屹度一週間に一二回は頭髪を洗ひますのが習慣てありますから自然毛も良くなるのであります併し日本の御婦人方も決して御髪を洗ふのは御嫌ではない私なども髪を洗ひますと氣もサツパリとして誠に心地のよいものですから度々洗ひたいとは存じ升が何分是迄は鶏卵だとかフノリだとか又偶に洗粉はありましても輕便な良いものはなく手間が掛りますからツイ〳〵ヲツクーになり一箇月に一度も洗はぬ樣な無性になります所が西洋では誠に輕便な髪洗粉が發明されて居ります例へば一寸朝など顔を洗ひます時日本なれば髪結さんを待たして置て僅か一二分間の内に微溫湯て髪を洗ふ事が出來ます私はそれを見ましてドーカこんな髪洗粉を用ひて日本御婦人方の御髪の洗方を改良して見たいと存じまして佛國から新たに此粉を輸入いたさせ地球堂田中方よりマダムと命名し内務省東京衛生試驗所で御試驗の結果髪洗ひに用ひて無害の御報告書を頂き賣出させました御婦人の頭髪の臭いのは御交際上衛生上誠に其方の恥で御座いますすから皆さんドーカ此マダム粉で御髪を洗て頂きたいのですそれは〳〵少しも毛を惡くせず毛を切らず毛をフツクリとして艶を出し殊に束髪、下ゲ髪には衣類をよごさず無つてならぬ髪洗です私は妄言は申しません御試し下されば直ぐ御分りに相なりますから早く洗つて御髪を良くなさいまし

可驚一分間の高等髪あらひ

東京市神田御成道田代町
原料直輸入日本一手發賣元　地球堂　**田中丹治**
電話下谷一三九九　振替四五三九

● **當分輸入原價を以て販賣す**
賣價　一袋八凡八回分洗料 金拾五錢送賃四錢　一罐入凡十二回洗料 金廿五錢送賃四錢

● **壹回の洗料わずか貳錢**　內外

東京市内各小間物店賣藥店其他全國に賣捌あり若し無き地は賣價へ送賃を添地球堂方へ振替貯金又は爲替にて送金あれば急送す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

松澤ホーサン石鹸

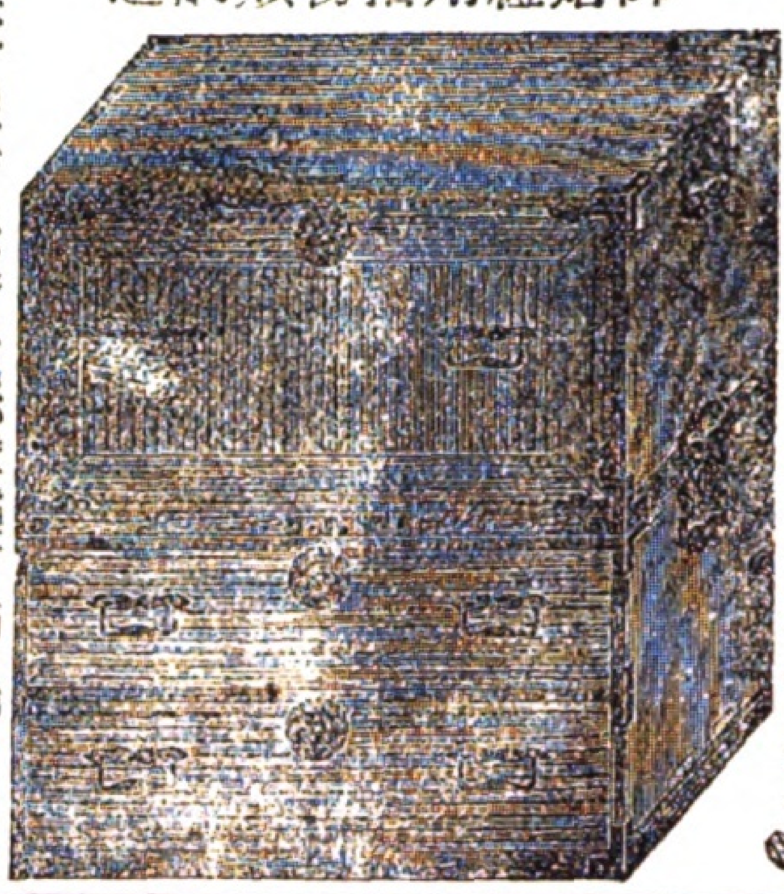
○色白く艶をだす最良之化粧石鹸（大形廿錢小形拾錢）

○到る所に販賣す（にせ物）あり松澤ホーサン石鹸と御買求を乞ふ

東京本石町四丁目
芳香藥種問屋
ムスク香水本舗
松澤常吉
（振替貯金四四四七番）

真正無類 英國最新輸入
クイーン白粉
高等香油 クイーンオイル
本舗 東京 三井花陽堂

時世適合最新式
高等箪笥簡長持類一式
御婚禮用指物類調進



蟲害豫防法實施 郵券貳錢封入御申越 商品目錄送呈
東京市日本橋區小傳馬町一
商標 長島屋
長谷川箪笥店
電話浪花一四三五番

東京勸業博覽會賞牌受領

▲正定價引なし

營業品目
特許竈各種・特許据風呂
特許テンピ・特許水焜呂
實用暖爐・鍋釜品々

日本橋區蠣殼町二丁目十五番地
神田泉町通松永町十八
名和本支店
（電浪一一七七番）

登録商標
羽おり紐 華しめ
保竹組紐舗
定價表ハ御申越次第呈送仕候

めりんす友仙 お召 まもすりん 新形反物品々
東京日本橋區人形町通り
赤のれん

第一號九月十五日發行
定價十五錢郵稅壹錢五厘六部前金八十五錢郵稅九錢

東西南北

三面六臂的雜誌なり社會各方面に亘りて政治經濟文學宗教科學美術を說述評論す。東西の名士に傾聽し內外の新聞雜誌を涉獵し、最新の思潮、最新の智識を供給す。內容豐富敍述簡明精を拔き粹を競ふ、多忙なる事務家にも餘裕ある讀書家にも無二の好讀物にして國運の伸張發展を促す世界的雜誌なり。

東西南北 重要目次

口繪 ロバートソンのシーザー 執筆中のマークトエン

發行の辭 東西南北日誌
著名新聞論說一覽表 前月小史
◎比律賓領有すべき乎 大隈重信
◎外交刷新の一策 德富猪一郎
◎如何なる人が韓國にて成功する乎 市原盛宏
第一銀行支配人 下村房次郎
◎日本海の將來 過去現
◎政治舞臺に於ける伊藤侯 在未來
◎內外雜纂（趣味饒多の記事）數十項
◎科學と發明（拾餘圖挿入）數十項
◎レムの里 楚人冠
◎文藝上の純正理論と應用方面 高須梅溪
◎高田實 白面郞
◎最近歐洲劇壇 松居松葉
◎小說意表張 柳川春葉
細君の領分には家財保存法、生花、料理、其他雜錄頗る奇拔斬新。

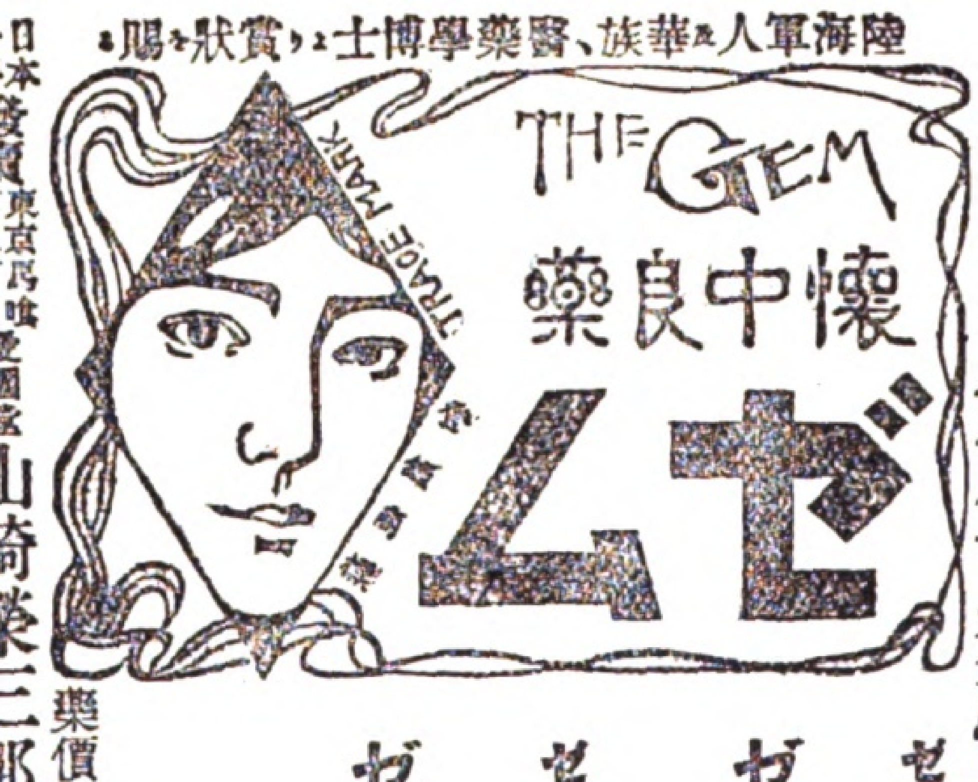
大取次 東京堂、東海堂、北隆館、上田屋、良明堂、至誠堂

發行所 東京市有樂町三丁目 振替貯金三百六十番 有樂社

袴乃親王

東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
小賣部
本鄕區本鄕五丁目 美濃磯本鄕支店 電話下谷二四一五番
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐內町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

陸海軍人及華族、醫藥學博士より賞狀を賜ふ



懷中良藥 ゼム

氣分を爽快ならしめ口中を潤し聲を美す

ゼムは偉大なる効能、愛すべき美味、馥郁たる香氣を有し消化と毒けしに効ある良劑也

ゼムは氣候の變る風土異なる惡臭の場所に携帶し常用せば時候あたり、食傷、水傷を治し流行惡疫を豫防なす一等劑なり

ゼムは紳士、貴婦人、軍人、學生、實業家、旅行家の必携劑にして集合場、雜踏場、宴席、汽車、汽船中に於ては欠くべからざる要劑なり

ゼムに二三粒を含む精神快活口中優雅佳香を放ち人座に爽快を感ぜしむ

故に衞生家は談活、喫煙、飲酒、食前食後に賞用なす貴重良劑なり

藥價 七十五粒拾錢 百六十粒貳拾錢 四百卅粒五拾錢 九百粒壹圓 新意匠容器ゼム入廿錢

日本一手發賣 東京丹唯愛國堂 町二丁目 山崎榮三郎 支舖 大阪高麗橋二丁目 山崎兄弟商會

●全國到る處藥店化粧品店に有●にせ物御注意を願ふ

貴金屬寶石袋物類
新製握手形純金指環伸縮自在

美術品袋物商
東京日本橋區人形町通り
澤田治助
電話浪花二五六九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○專賣特許齒楊枝消毒器

消毒器一個金六拾錢
志村楊枝一本金參拾錢
消毒藥一瓶金參拾錢
小包用木箱金六錢
送料金十錢

肺病患者は必ず用ひ賜へ、衛生家にも又必要のもの
裝飾となる實に齒牙衛生の唯一品と認めらる尙愛國婦人本號以下每號參照せられよ。

販賣所　東京京橋銀座　資生堂
日本橋區通武丁目鹿島洋品店
麴町區紀尾井町一齊藤調劑藥局

内務省衛生試驗所檢査濟

ムスク香油

●原料は純良なる植物油
●芳香は「スミレ」と「ムスク」（壹瓶五拾錢）

東京本石町四丁目
ムスク香水本舖
松澤常吉

久邇宮妃殿下賜御買上之榮

髮油オペラ香

大瓶壹圓八拾錢
小瓶四拾錢
東京日本橋區米澤町一ノ一
鳳舞堂

カメリヤ洗粉

美貌は婦人の生命なり

新製罐入一個に付定價金十三錢

と或學者は唱へたり、獨り婦人のみならず美貌は人生最大の幸福にして何人も望む所……如何にせば美貌たるを得るか
カメリヤ洗粉は最近の學理に基き皮膚に特効ある劑料を配合し所謂美身術に適せる最新の化粧料なれば日やけを防ぎ色を白くし艶を增し肌を滑かならしむる特質を備ふるが故に夏期の化粧料として缺くべからざるものなり殊に婦人小兒の如き軟き肌には効顯最も著し
●美術罐入發賣……量多く價廉にして携帶上頗る便なり

發賣元　ライオン齒磨本舖　小林富次郎
日本東京、大阪　清國天津、漢口、上海

新着婦人小兒用
帽子各種
沓下手袋婦人用
股引化粧品

神田小川町通裏神保町
中久商店

起死回生
東京池之端仲町
寶丹
本家守田氏製

●寶丹●は旅行乘船の際は勿論あるひは軍陣練兵等の節は必ずこれをたくはへ時々服してよろしまた風土の異なる地に到り少しづゝ用ふるときは水害あるひは惡き疾に罹るの患なからしむ故に時候の不正或は惡疾流行の土地若は家に到らんとするときは別して怠りなく度々用ひてよろし希くは攝生の諸君必ず常に携帶して大ゐに自他の幸福を得玉はんことを爾云
◎各地に同姓名あるひは守田堂其他一見視誤しやすき體裁にせる類似これあり候あいだ御購求の際は東京池之端仲町貳拾七號所有地守田治兵衛と商標御檢認の上何卒御愛顧奉願上候也

寶丹本舖　東京市下谷區池之端仲町貳拾七號所有地　守田治兵衛

醫院案内

産婦人科小兒科
（本院獨特わきが新治療）
四谷本村町三〇
水口醫院

小兒科院
神田錦町三ノ四本電二三三三
小原賴之

産科
婦人科
專門木下醫院
神田區松永町廿二番地（和泉橋通）
殊ニ姙娠鑑定の如きは一ケ月の姙孕と雖ども確實に診定す

○院長　ドクトル木村順吉
婦人科産科　木村病院
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇番）

腦病脊髓病
神經衰弱、ヒステリー、中風癲癇
神經痛運動障害等
●午前　自宅　神田多町壹ノ八
●午後　岩佐病院　日本橋區蠣殼町
醫學博士　土田卯三郎

●内科小兒科生殖器科
●新式鬱血療法　腫物、炎症部ニ應用、切ラズ痛マズ追治ス（入院隨時）
牛込區河村町　電話番町三一三八八
生春堂醫院

東京神田美土代町三丁目十九番地
内科一般　午前宅診　午後往診
電話本局貳千九百七十番
板垣亨

小兒病診療
宅診午前　往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士　内田愼太郎
●電話下谷七一八番

院長　醫學士　鳥山南壽次郎
午前診察　午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番
鳥山内科院

内科病特に腦脊髓神經疾患
院長　ドクトルメヂチーネ　峰秀世
峰内科醫院
神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）

◎婦人病專門
院長　櫻井克己
芝明舟町十九虎門外宮樣前　電話新橋三三二四
櫻井醫院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

藥品之純良

醫家處方調劑

醫師ノ處方ニ係ル調劑ハ極メテ親切丁寧綿密ニ且ツ迅速ニ調劑ス
當藥局ハ既ニ久シク大醫諸先生ノ信認ヲ辱ウシ尚東京郵便局ノ指定調劑所タルノ光榮ヲ有ス
藥局トシテノ設備又大ニ完全シ醫家ノ處方箋ニ係ハル調劑ハ必ズ藥局主任之ヲ擔任ス

神田區今川小路電車停留場前
尾澤純良堂
電話本局一五一八番
藥劑師 大西橘三
藥局 藥局主任藥劑師 田中利弘

調劑之精確

貴婦人裝身具新着小兒帽子ハンカチフ、シーツ、手袋、靴下香水石鹼化粧品

電話番町一六九九番
牛込神樂坂下
朝日堂

誠實廉價

小間物

東京神田區須田町本店
三井屋商店
電話本局二〇七六番

新橋際博品館內支店
小川町通東明館內支店
帝國五二館內支店

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金 六ヶ月以上 年五分五厘
當座預金 百圓に付日步 八厘
小口當座預金 同日步 壹錢壹厘

東京市日本橋區小舟町三丁目
株式會社 第三銀行
電話 浪花四四二 浪花四五一番

預金利子
定期預金 六ヶ月以上 年五分
當座預金 百圓に付日步 八厘
別口當座 同日步 壹錢
全國送金無手數料
其他銀行一般の業務格別便宜ニ取扱可申候

登錄商標

代價は……貳錢五厘より拾五錢まで
玉川は殺菌力に富むでゐます衛生上最必要の品です
玉川は經濟上德用です些少の粉で何枚も洗へます
玉川は絹毛織物綿布等を洗つて地質がいたみません
玉川は手があれさゝくれの出來る心配がありません
玉川は石鹼ご違ひておちがよいから汚が還ふございます
玉川は洗ふに容易で奇麗になり手間がかゝりません

東京日本橋區本町三丁目(電本一七九四)
發賣元 合名會社 玉屋商店支店

金銀寶石細工
西洋小間物
化粧品

東京神田小川町壹番地
金石舍美術店
電話本局六八一番

近頃化粧と云ふ事が進歩したのにも拘はらず毛髮油は更に改良が出來ないので舶來の油を用ゆる事が盛んになつたが舶來の香油は西洋人に適當する樣に出來て居るので永く使ふ中には毛が赤くなるとか又は折れる樣になる事が有るので種々研究して日本人の毛髮に適當なる椿油に含める毛髮の發育と光澤を助くる土成分を採り之れに高尚なる芳香と油の通油性を去るべき藥品とを配合して日本人男女兩用の練油を製出し之れをビューテーオイルと名付けて發賣せり

大瓶四十五錢
送料十錢

男女兩用毛髮用煉香油
ビューテーオイル

發賣元
井筒油本舖 東京日本橋區蠣殼町水天宮前 井筒屋香油店
象印齒磨本舖 安藤井筒堂

見本御入用の方は愛國婦人愛讀者に限り郵券四十五錢を御送附になれば特に送料を要せずして一個御送り可申候

東京市麹町區錢瓶町(常盤橋內)
日本興業銀行
電話本局 一、二八〇〇番 三、三〇〇番 四一番 (特)三七番 一〇二番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目
一 擔保附社債に關する信託業務
一 有價證券其他貴重品等の保護預
一 有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一 地方債、社債、株式等の發行募集事務
一 各種の信託事務
一 國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一 國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一 法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一 定期預金、特別當座預金

胃病良藥
太田胃散

畏き邊りの御料に召させ給ふ
完全無鉛
高貴御化粧料

御料 御園白粉
ねり製 御園白粉
水製 御園白粉
こな製 御園白粉
洋風化粧クレーム 御園の蕾
高等化粧水 御園とき水
御顏ふき うちこ粉 御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等香水油 御園香油
高等香水 御園香水
高等はみがき 御園歯磨

製造元 胡蝶園
發賣元 東京日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店 電話浪花四四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洗用ワツセル

◎此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹸曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

◎用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシヤンの如きは（拾貳匁）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髪は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効てす

定價　拾貳匁入 金拾五錢　六匁入 金八錢　袋入二錢

芳香御肌洗粉ワツセル

◎此肌洗粉ワツセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり

定價　最上 金七拾五錢 金貳拾錢　普通 五拾錢 六錢　參拾錢 三錢　拾七錢

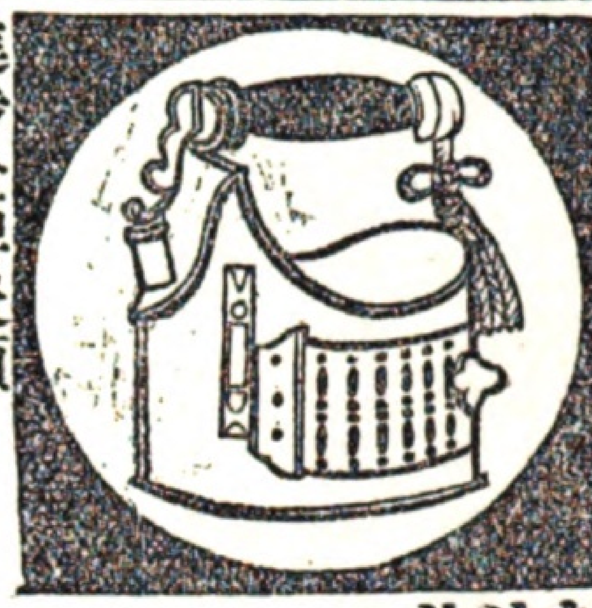
東京市京橋區三十間堀三丁目　電話新橋一七二二

英國製ワツセル日本一手販賣元　御肌洗ひこ芳香ワツセル製造元　三友商會

日本第一の大勸業場

東京新橋角　帝國博品館　電話新橋（一六五二）（一六五三）（三六十）

宮内省御買上品　進歩金牌受領



專賣特許　蒸氣こて（和洋服安全のし器）

家庭用中形 金三圓八十錢　同アイロン形 金三圓二十圓　小包料十六錢

○洋服地絹布ちりめん木綿の別なく實によく利き○少しも染色を害せず決めて地質を損せず○日常お召しの和服洋服仕立上げ地のし減のし其他何んでも思ふやふにのせます　第一報次第實地御覽に供す（說明書送呈）　各地有名なる金物店雜貨店呉服店にあり

東京市麹町二丁目　振替口座五七五二　（本店）大阪市新町通二　千歳商會

親は何故に之を讀まねばならぬか

東京職工學校教授本間鶴治君編纂（新刊）

通俗家庭理科

◎福澤先生曰く人生先づ知るべきものは日常心須なる理科の智識也

◎小兒の頭腦は疑問を以て充滿す我子の一生涯を誤る父母は理科の智識なき爲疑問に答へぬ故也

◎本書は兒童の耳目に觸れて質問となるべき事項數百項を悉く網羅し面白く說明す父母には最便最良の珍書也

◎全一冊美本 七拾錢　◎郵税八錢　◎郵券代用は一割增

▲「最新育兒法」加藤博士校閲 西谷龍顯君編（全一冊定價七拾錢郵税八錢）產後より二三歲迄の育兒法悉皆說明

▲「婦人消息文」鵜飼天淵君著（全一冊定價五拾錢郵税八錢）苟くも婦人必要なる書簡文及作例丁寧說明

▲「弦齋婦人の料理談」石塚月亭君編（全一冊定價六拾錢郵税八錢）一年四季の和洋手輕新料理

子供は本誌を菓子よりも喜ぶ

家庭教育 繪ばなし

◎全部彩色石版の繪本◎玩具と教育と兼備

◎兄弟仲好く學校へ通ふ◎姉と弟との野遊び◎太郎の動物園◎花子の植物園◎瘠せた人と肥えた鶏の問答◎繪探し◎ハメ繪◎外澤山

◎九月五日發行　毎月一回　第六號　價六錢郵税五厘　六冊郵税共卅八錢　十二冊同七拾貳錢

東京京橋南紺屋町十二　實業之日本社　郵便振替貯金口座參六貳　全國賣捌所各書肆雑誌店

ラクダ石鹸

ラクダ印麝香石鹸は高貴なる麝香に愛すべき「スミレ」の香料を多量に含むが故一度使用せば其香氣五日間馥郁としてかをりを失はざる一大特點を有す

定價　大形廿錢　小形十錢

芳香藥種問屋　東京日本橋區本石町三丁目　本舗 井上太兵衛

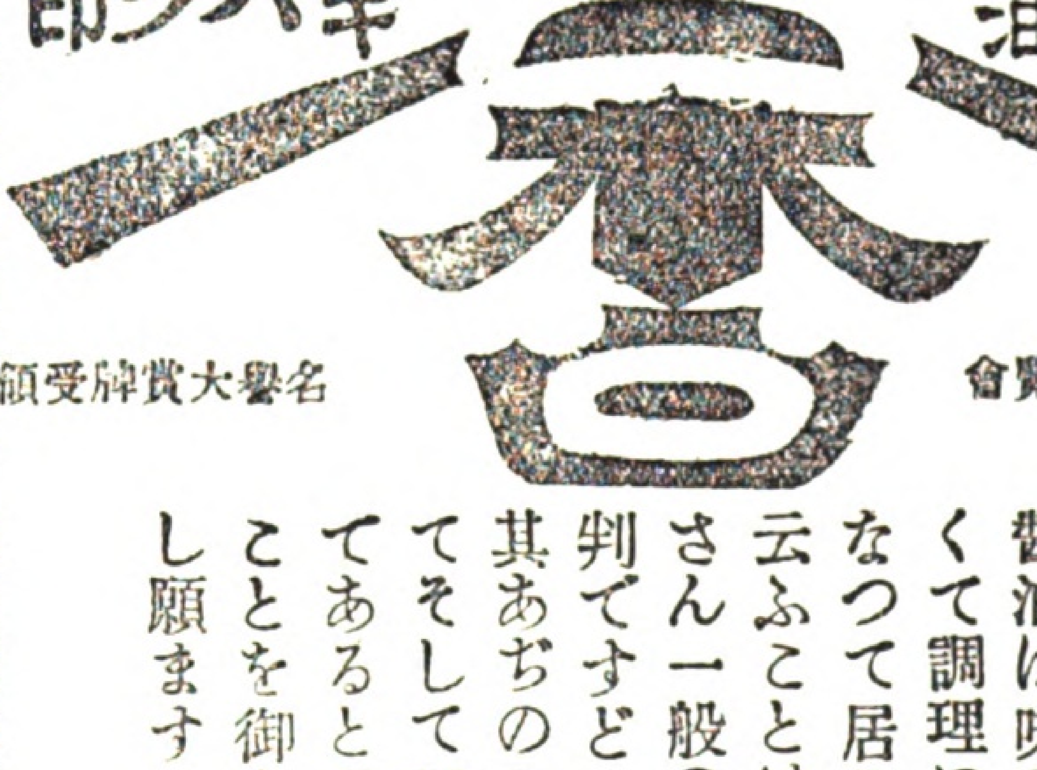
ムスク香水

（大瓶壹圓◎中瓶六拾五錢◎小瓶二十五錢）

○本品は芳香の永く保つ點に於て頗る高評なり

東京日本橋區本石町四丁目　ホーサン石鹸本舗　本舗 松澤常吉（電話本局四百四拾五番）

最上醤油 キハク印



於淡路島博覽會　名譽大賞牌受領

醸造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衛門　信略號（キハク）又（ハク）

キハク印醤油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店　日本橋區小網町三丁目　中野長兵衛　電話浪花五七七四

大俵炭

大徳用　山出シノ儘叺入堅炭、土釜、切炭、壹俵ハ拾貫目内外入　市内ハ無賃配達　目方ウリ

戸塚商店　（電話本局三二〇八）　神田三崎川岸

商品案内無代進呈

○銀側兩蓋之部　流行雛形

瑞西石入向爪アンクル 價八圓半
同總石卷上向アンクル 價十圓半
同高三枚總石卷上向爪 價十三圓半
米國中蓋付切天武向爪 價十四圓
米國中蓋付上等品 價十七圓半

○金側兩蓋之部　流行雛形

瑞西國十八金側御婦人持 價三十三圓
瑞西大金側中形紳士持 價六十九圓
米國製大金中形紳士持 價七十九圓
瑞西18金側形18紳士持 價九十五圓
米國製18金形18紳士持 價百十五圓

東京市京橋區銀座一丁目　電話新橋（二三三一）　伊勢伊時計店

スコット乳菓

小兒ノ發育期ニ用ユレハ其效驗ノ最モ著明ナルヲ證スルモノナリ

說明書ハ横濱郵便局私書函第五十八号スコット乳菓部へ御申込アレバ無代價ニテ進呈ス

代理店横濱市山下町廿八番館　米國貿易商會

◎東京博覽會に於て壹等賞牌を受領せる　西川風琴

◎花形發音器各種新荷着

和洋樂器　平圓盤發音器

樂器 十字屋 書籍

振替貯金口座七一五八　電話新橋一二五九　東京銀座三丁目

明治四十年九月廿日發行（毎月五日廿日二回）（定價金三錢一ヶ月六錢郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 大久保高明　發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所　印刷所 東京牛込區市ヶ谷加賀町 秀英舍工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉總裁殿下島根支部總會へ御臺臨　九月廿六日同部總會に村會長代理評議員千家俊子評議員古市幸子等を隨へさせられ左の日割を以て御臺臨あらせらるゝことゝ御治定あらせられたり

九月廿三日　東京　午前七時四十五分御發
　大阪　午後八時三十分御着
　大阪御泊花屋
九月廿四日　大阪　午前八時五十分御發
　新舞鶴　午後一時四十五分御着直に御乘艦
　宮津　午後五時御着
　宮津御泊荒木別莊
九月廿五日　宮津　午前七時御乘艦
　美保關　午後四時御着
　同　午後四時三十分小蒸汽御乘換
　松江　午後七時三十分御着
　松江御泊皆美館
九月廿六日島根支部總會
九月廿七日婦人會事業其他慈善育兒事業御視察
九月廿八日　松江　午前九時御發
　宍道　午前十時三十分御着
　宍道御泊木幡久右衛門方
　宍道　午後一時御發
　今市　午後三時御着
　今市小憩藤嘉右衛門方
　今市　午後三時三十分御發
　杵築　午後四時三十分御着
　杵築御泊因幡屋
九月廿九日午前十時出雲大社御參拜
　杵築　午後一時御發
　直江　午後三時御着
　直江御小憩高等小學校内
　直江　午後三時三十分御發
　宍道　午後四時三十分御着
　松江　午後五時五十分御着
　松江御泊皆美館
九月三十日　松江　午前六時三十分小蒸汽船にて御發
　美保關　午前九時御着直に御乘艦
　新舞鶴　午後六時御着
　新舞鶴御泊鎮守府内水交社
十月一日　新舞鶴　午前九時御發
　大阪　午後三時十四分御着
　大阪御泊花屋
十月二日　大阪　午前八時三十分御發
　東京　午後九時十五分御着

◉島根支部總會順序　松江市に於て今回開催さるゝ總會は左の順序により行はるゝ由なり因に記す濱田總會順序式も之と同じ

第一鈴
一、參列者の入場　（午後第二時）
第二鈴
一、君が代吹奏　（一同最敬禮）
一、總裁殿下御臺臨
一、支部長職員名簿及會員表捧呈
一、支部長開會の辭
一、三十七八年戰役に關し本會に賜りたる御令旨捧讀支部長　（一同最敬禮）
一、總裁殿下御諭旨　（同）
一、支部長奉答
一、支部副長會員並に會計報告　（書類代用）
一、會長祝詞
一、顧問來賓會員總代祝詞
一、總裁殿下有功章御親授　（一、二等章各人　三等章總代）
一、總裁殿下癈兵總代遺族總代に特別下賜金御授與
一、會長遺族、癈兵慰藉の辭
一、支部長閉會の辭
一、君が代吹奏　（一同最敬禮）
一、總裁殿下御退場　（同上）
第三鈴
一、參列者退場
以上

◉山田函館支部長へ御見舞　過般未曾有の火災ありし函館支部に對し恰かも當時總會開催に臨場せる有島評議員の爲め同支部長の保護非常に深かりしに感激せられ會長より左の見舞狀を支部長に宛て送られたり

逐日秋冷相催候處愈御清適被爲渡候段奉賀候陳者過般御地未曾有の災禍の際には本會評議員有島幸子出張中御許樣には御自宅の燒失は更に御顧念なく始終有島評議員の安全を保護せられ候爲め御斷念には少しも御家資を搬出せらるゝ遑なく終に全部を燒失し逝き趣に御同情の感に堪へず候就ては乍輕少別紙目錄の通御見舞進呈候間御受納被下度此段得貴意候草々敬具

函館の大火

殆と全部燒失死傷多し

一月二十五日午後十時東川町二百十七番地石鹼製造業福島縣生れ元巡査山々ツ印塚田佐一郎（五二）方より出火し折柄前日來の强風と云ひ殊に同所は大森濱に接近し居れば太平洋原海の舐めて吹き荒む風伯は火災を捲きて煽りに煽り忽ち一面の猛火と變じたるが消防は第四部、第三部を眞先きに五、二、六、一部夫れ〳〵繰出し現場へ馳付きたれど既に月餘に渉りて一滴の雨だになく、屋根と云はす、羽目と言はす乾に燥き切つて居れば何樣堪るべき黑煙に紅蓮の焔の渦を作りて冲天を覆ひ漸次に燃え廣がりて遂に全區を殆ど舐盡したり同地は吾國有數の開港場にして内外人の深く記憶ありたる處たりしも不幸にして此火災を見しは誠に同地のため同情に堪へざる處なり同支部の模樣は別項記載の支部長赤誠と題する項を參考せられたし。

◉在外國委員部長及顧問　氏名左の如し

委員部所在	職名　委員部長	顧問
布哇國ホノルヽ總領事館	齋藤豐子	齋藤幹
清國上海總領事館	永瀧フサ子	永瀧久吉
清國天津總領事館	加藤直枝	加藤本四郎
加奈陀晩香坡領事館	森川フヂ子	森川季四郎
北米合衆國桑港領事館	上野トク子	上野季三郎
北米合衆國シヤトル領事館	久水和歌子	久水三郎
清國牛莊領事館	窪田悅子	窪田文三

◉特志家の寄附　通常會員横濱市花咲町七丁目八十二番地石川やす氏は本月を以て結婚後廿五年に相當するに付祝意を表すべき處其費用を節し同支部癈兵救護費に金五拾圓良人竹太郎氏も亦金五拾圓を寄附せられたり。

◉佐藤會計監督の歸京　兼て郷里廣島へ歸省中の處九月十五日歸京せられたり。

◉島根支部總會へ隨從に付庶務課長大久保高明事務員小山縱由兩氏同支部へ出張を命ぜらる。

社告

豫て募集中の「故奥村刀自を懷ふ」歌及新體詩は尚ほ當分受付其中より愛國婦人及故奥村五百子刀自傳記中に掲載候に付御寄稿を歡迎可致候尤該傳記の儀は晩くも本年中には必ず出版の筈に付可相成速に御投稿切望に不堪候

明治四十年九月
愛國婦人會内
愛國婦人發行所

本支部各役員各位
愛國婦人愛讀者各位

愛國婦人會會員女子人口比較表　明治四十年八月末日現在

支部名	特別會員	通常會員	計	三十六年末女子人口	女子人口百人ニ付會員比例	賛助員
石川	一、九九一	一九、五二四	二一、五一五	三八五、四七八	五、五八	六一
山口	八七七	二五、九六七	二六、八四四	五〇六、九二〇	五、三〇	八
山形	九九〇	二〇、七五五	二一、七四五	四三九、六一八	四、九五	一〇三
愛知	一、五六〇	三六、三〇二	三七、八六三	八六八、五三八	四、三六	六
福岡	二、八二二	三〇、三八九	三三、二一一	七七二、七四三	四、二九	一〇
兵庫	二、二八九	三四、三五四	三六、六四三	八九三、七三四	四、一〇	一七
岡山	一、〇八二	二二、五二八	二三、六一〇	五七七、二七二	四、〇九	一二
富山	九八九	一三、三一三	一四、三〇二	三八四、九八二	三、七一	｜
北海道及函館	三、二五六	一五、二一三	一八、四六九	五〇七、六三八	三、六四	六二
神奈川	一、七六四	一六、三五一	一八、一一五	四九九、六二三	三、六三	四一
愛媛	五三九	一八、〇三五	一八、五七四	五一一、三九六	三、六三	四〇
熊本	二、八七〇	一八、〇八一	二〇、九五一	六一〇、四一一	三、四二	一三
香川	八二三	一〇、六九一	一一、五一四	三四七、八九〇	三、三一	｜
京都	二、三五三	一四、七六〇	一七、一一三	五二一、三九五	三、二八	一九
青森	一、三九五	九、〇八八	一〇、四八三	三二二、二一一	三、二五	八
秋田	八二八	一一、九一一	一二、七三九	四〇三、九四一	三、一五	｜
島根	三五八	一〇、八〇八	一一、一六六	三六二、六三六	三、〇八	｜
群馬	一、五〇六	一二、〇一〇	一三、五一六	四五四、一七五	二、九八	二二三
福井	八三八	七、九五九	八、七九七	三〇二、一五一	二、九一	一
宮崎	三〇二	六、七七五	七、〇七七	二四七、二五四	二、八六	一八
佐賀	九一四	八、四一五	九、三二九	三二七、六七二	二、八五	二
長崎	三、二六二	一〇、五八九	一三、八五一	四八九、三九八	二、八三	二
宮城	一、四八一	一〇、五九六	一二、〇七七	四四五、〇四七	二、七一	一一
大分	八四六	一〇、四二一	一一、二六七	四三〇、〇二五	二、六二	三
栃木	八三九	一〇、六〇三	一一、四四二	四五〇、一二六	二、五四	七七
三重	四三一	一二、二七〇	一二、七〇一	五二二、〇四三	二、四三	一
奈良	二八九	六、一八二	六、四七一	二七八、一九一	二、三三	｜
德島	三五二	七、四一二	七、七六四	三五二、六〇八	二、二〇	五
岩手	六八三	七、四六六	八、一四九	三六九、二七八	二、二〇	一
大阪	三、二六四	一五、四八四	一八、七四八	八六三、四〇五	二、一七	一七
高知	二九五	六、四〇七	六、六六二	三一八、二四五	二、〇九	｜
東京	八、三三〇	一五、八七〇	二四、二〇〇	一、一五七、五一四	二、〇九	五九
靜岡	六九八	一二、一七三	一二、八七一	六四〇、八四八	二、〇一	一九
廣島	一、二五〇	一〇、三四二	一一、五九三	五八二、一五六	一、九九	一
滋賀	四六六	六、二二六	六、六九二	三六四、六八八	一、八四	｜
千葉	一、〇二五	一〇、七一四	一一、七三九	六五六、七八二	一、七九	二八
福島	一、五九四	一一、六一〇	一三、二〇四	七四六、六五五	一、七九	二
山梨	四〇二	四、〇〇九	四、四一一	二七二、一四八	一、六二	｜
新潟	一、一八九	一二、七一九	一三、九〇八	八九九、〇二一	一、五五	三四
茨城	五三九	八、四五八	八、九九七	六〇〇、四一三	一、五〇	一
埼玉	三六〇	八、〇二八	八、三八八	六二七、五五六	一、三四	二七
鹿兒島	一、〇九八	五、九三七	七、〇三五	五九四、九八五	一、一八	八
岐阜	七九一	四、六一一	五、四〇二	五〇二、六五八	一、〇七	一
和歌山	二九一	三、四四九	三、七四〇	三五〇、〇六九	一、〇七	一
鳥取	一七二	二、〇六五	二、二三七	二一七、五四一	一、〇三	｜
長野	六一五	五、五五八	六、一七三	六七四、五一八	〇、九二	一七
臺灣	一、三二四	一一、五〇〇	一二、八二四	一、四〇二、七七一	〇、九一	二三
沖繩	三四九	一、六一五	一、九六〇	二三九、二二七	〇、八二	｜
海外	七六〇	二、一八四	二、九四四	｜	｜	二、七一三
計	六三、三四七	五九七、六七七	六六一、〇二四	二五、三一三、〇四〇	二、六一	三、七〇九

備考
支部ノ配列ハ會員比例數ノ最モ多キモノヨリ順次配列ス
北海道及函館ノ兩支部會員數ハ合算シテ掲載セリ而シテ函館支部會員數ハ特別五百十九人通常千八百二人ニシテ他ハ北海道支部會員數ナリ

產科婦人科專門　岩田病院
診察毎日午前　入院隨時
淺草區左衛門河岸
電話下谷一〇二八

第廿七回產科婦人科講習
十月一日ヨリ十一月三十日マデ
東京日本橋區濱町三丁目七番地
楠田病院

內山小兒科醫院
午前宅診午後往診　入院隨時
淺草區下平右衛門町十七番地
通り柳橋（電下一三六五）

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地
（電話浪花六九七番）
診察時間　自午前九時至正午十二時
內科婦人科　院主　岩佐純
內科　院長　ドクトル　岩佐新
（獨乙留學中）副院長　醫學士　高田壽
外科　醫學士　山村正雄
產科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

◉本月十八日參事會を開き高木、濱尾、中山、柳谷、有島の參事員諸氏來會せらる◉評議員會は本月より定例に復し來二十五日（第四水曜日）午後二時より開會のことゝなれり　◉吉岡島根支部主事總會要務を帶びて本月十九日同地出發同二十一日着京の電報あり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各支部の状況

◉臺灣支部　生蕃地に産出するラミーを原料とし蕃婦の織成せる一種の布を以て旅行用袋布を製し之を内地に販賣して其收入を軍人遺族の救助又生蕃討伐隊の傭兵に充つる筈なり因記す右の布は蕃婦が蕃界に持來り需用品と物品交易を行ふものにして其質極めて丈夫なれば其他にも利用の道ある可しと云ふ

◉北海道支部　佐藤、手塚、内藤、森、磯谷、國澤、河原諸令夫人は九月二日正午より支部に集會し函館大火罹災者へ物品寄贈方に關し協議會を開きたるが前期第一回寄贈品輸送の爲め出函せる小池九一氏歸札したれば同氏より詳細なる状況報告あり次て山田區長が篤志者一同の厚情を感謝すると同時に今後は日に冷寒の候に向ふが故に給綿入の寄附は最も喜ぶ所なれば以て纏りを願度しとの意を傳達する所ありたれば各婦人は引續き蒐集し來る八日迄に纏りたる分を第二回として輸送することに決し午後二時散會せり因に寄贈品申込まんとする篤志者は前記各夫人の自宅若しくは支部に申込むべく品種は問ふ所にあらざるも可成直ちに使用し得らるゝ物にして給綿入物は最も歡迎する所なり

◉靑森支部　本年八月末現在會員左の如し

郡市部	八月末日現在會員數	内譯 特別	内譯 通常	會員一名に對する人口
東津輕郡	一,〇七六	一三二	九四四	二二
西津輕郡	九二九	六八	八六一	三九
中津輕郡	九五四	一九	九三五	四四
南津輕郡	九七九	九四	八八五	三二
北津輕郡	九二二	五四	八六八	三九
上北郡	九三五	六五	八七〇	三九
下北郡	三三一	二九	三〇二	三三
三戸郡	一,八〇四	一九五	一,六〇九	三三
弘前市	一,一九八	二八六	九一二	二五
靑森市	一,四四六	五一三	九三三	一四
合計	一〇,四〇三	一,五九五	八,八〇八	三三

▲板柳幹事部に於ては　二十八日常集會を板柳小學校内に開く當日は朝來の大雨なるも雨を冒して參集せる婦人二十餘名茶話會の席上互に懇談を取かはして午後二時散會せり

◉宮城支部　函館火災罹災者の爲め義損金品を募り寄贈し慰藉せんと下の如き趣意書を發せり「去八月廿五日北海道函館港の大火は近古未曾有の慘禍にして其實況は新聞紙上之を詳さず掲載したり其燒死者無慮三百餘名と云ふを以ても慘なるを知る可し以に我々婦人會員に於て會員が協力し聊か同情の誠を表せんとの内議せし折柄仙臺市長和田君より共同恤窮の勸誘あるを機とし篤志者諸婦人會宮城支會及び愛國婦人會宮城支部合同し幹事以上の相談會を開き左の新項を評定し大に罹災者を慰藉せんとせり冀ひ有志の御方々賤妾等微衷の存ずる所を御諒察ありて十分の御援助を願ふ再拜」

▲賞牌授與式　九月九日午後一時半より北一番町赤十字社支部事務所に於て仙臺幹事部會員征露後援事業に對する功勞賞牌授與式を舉行せり

◉福島支部　八月廿七、廿八日の兩日の暴雨にて諸川汎濫し同市清明町柳町御倉町及び隣接せる信夫郡吉井田村字道下等の如きは浸水殊に甚しく床上殆ど六尺に達し止なく家を捨て財を殘して避難するの慘況に陥り貧困者子弟の如き忽ち飢に迫り道路に號泣する者あるに至れり支部は經給手當として廿八日夜俄かに焚出しをなし該貧困者中五十五戸一戸に對し握食拾五個に梅干を添へて施與救助せり

◉島根支部　十月二日那賀郡濱田町において開會するものは松江同様島根支部總會なれば結句支部總會を松江、濱田の二個所に開會する譯なり濱田の會場は縣立濱田高等女學校にて先例し總會の順序は既報松江におけるものと略ぼ同一にして同會へ臨場の會長代理評議員石黒工學博士夫人は本部書務員一名を隨ひ來廿八日總裁閑院宮妃殿下に隨從して浜田に至り同地より直ちに濱田に向ふ筈なり又た濱田總會へは島根支部より副長、參與一名、評議員二名、主事一名位參列する筈にて其際總裁殿下の御寫眞を捧持して同地に赴く都合なり

▲支部長上京　松永島根支部長は右總會を終らば間もなく上京して總裁殿下に御禮を言上する筈

▲總會出席會員　總會へ出席する會員は松江、濱田の内何れに出席するも差支なくまた兩方へ出席するも妨げなしとの事なるが那賀郡の如きは郡内會員總員の内約三分の二は松江の總會へ出席する旨申來れり

▲入會申込者好況　屢次記載せる如く島根支部にては總會迄に會員の總員を一萬六千四百六十九人に達せしめん豫定なるが右は女子人口百人につき四人五歩の(割合縣下本部よりの注文は百人につき四人以上とあり)にして即ち各郡幹事部に對して何れも四人五歩に達せしめんため在來の會員を引去りその不足を募集せしめつゝあるがその配當は左の如し

松江三百十四名▲八束五百十二名▲能義二百九十七名▲仁多百十四名▲大原六十三名▲飯石二百五十五名▲簸川千六十一名▲邇摩百四十六名▲安濃百二名▲邑智五百二十四名▲那賀七百九名▲美濃四百廿二名▲鹿足二百九名▲隱岐二百九十四名計五千三十名右の内一昨日までに飯石は二百五十五名の配當に對し三名の超過、大原は六十三名の配當に對し二十六名、八束は五百十二名の配當に對し百二十九名の入會者あり

◉廣島支部　賀茂郡幹事部にては日露戰役に際し同會の趣旨に基き援助の實を舉げ功績顯著なりし者にして今回同會より行賞せられしものを召集し本月五日午前十一時より同郡役所に於て紀念品授與式を舉行したり當日式場の前には紫の幔幕を張り其前に卓子を置き最と莊嚴に飾付をなし受賞者を一人宛順次呼出して同部顧問たる中尾郡長には之に對して賞状を授與し其傍らには同幹事部長たる中尾菊子夫人有りて紀念品を交付せしに受賞者は何れも喜色滿面之を享受して退き式終りて後別室に於て茶菓の饗應あり互ひに戰役中風雨寒暑の別なく西條停車場に出でゝ歡迎に盡力したりし當時の状況を物語り各々歡を盡して午後一時退散したり

▲深安郡にては郡内の重なる會員を召集し九月七日午後一時より福山公園内葉陽館に於て可兒深安郡長より會務擴張に關する協議をなし同會廣島支部主事門川正之氏も臨席したり

◉山口支部　來る十一月下旬第一回總會を開催して參列の軍人遺族(恩給法に依り扶助料を受くるもの)癈兵に對しては賞與を論せず總裁殿下より特別下賜金并に御染筆御歌寫眞一葉を御下賜相成る筈なり因に癈兵にして軍人恩給法第九條の第一、二項に該當のものは不參者と雖も特に御下賜相成るべきも其他にありては參列の本人に限るとなり而して當下關市に在る軍人遺族は三十三人癈兵は九人なりと

◉香川支部　綾歌幹事部に於て九月七日午前十時より坂出町三屋に於て會務打合の爲め臨時幹事會を開く筈

◉愛媛支部　救護を要する軍人遺族及び癈兵の數頗る多く昨年まで三百七十名に對し千三百五十三圓の救護金を與へ來りしが本年は約一千名に對し三千八十五圓を與ふることとなり已に本部より送金し來りたれば第一回救恤として前年來引續けるものに對して近日中に贈與し他の新たなるものに對しては調査の上贈與する筈なり

◉福岡支部　本年八月末調査に依れば現在會員總計三萬三千二百十一人にして既に豫定人員に超過し即ち女子人口百人に對し四人二分一厘の割合なるが内若松の同五人八分二厘も多く鞍手の同四人七分八厘、三潴の同四人七分五厘之に次ぎ福岡市は四人四分二厘なるが小倉早良築上の一市二郡は未だ豫定に達せざる由

◉宮崎支部　八月末現在會員數左の如し

郡名	特別 終身	特別 年賦	通常 終身	通常 年賦	合計
宮崎	一六	六九	二九	一,二三八	一,三五二
南那珂	四	一五	一一	八〇五	八三五
北諸縣	四	三四	二六	七一一	七七五
西諸縣	八	四六	一五	八五五	九二四
東諸縣	—	四	一四	二七〇	二八八
兒湯	六	四一	一五	六四六	七〇八
東臼杵	九	三七	四四	一,五九八	一,六八八
西臼杵	—	一一	一一	三三六	三五八
合計	四七	二三五	一五四	六,六四一	七,〇七七

◉鹿兒島支部　會員は役員以下の熱心なる勸誘に依りて入會續々あり七月末日の現在に依れば限定人員六千百五十六人に對して七千百三十三人の現在なれば都合九百七十七人の増加にて餘程の好況なり會員數を郡市別にすれば左の如し

郡市別	特別	通常	現在總數	規準人員
市	四四五	八八一一	一三二七	二九六
鹿島	三一	一一九	一五〇	四七八
揖宿	二三	三三三	三五六	三七〇
川邊	五八	六三四	七〇二	六二三
日置	二七	六一三	六六〇	六四二
薩摩	九八	四四八	五四六	五四六
出水	四三	二六八	三一一	三七二
伊佐	六五	一二六	一九一	一二四
姶良	一一五	七五〇	八六五	六三八
囎唹	九	三九八	四〇七	三五九
肝屬	七五	三八四	四五九	五七八
熊毛	四	一七六	一八〇	一九八
大島	一一九	八六〇	九七九	八七三
合計	一一一二	六〇二一	七一三三	六一五六

◉熊本支部　玉名郡幹事部は縣下に於て多數の會員を有し而かも諸般の事務悉く整頓し常に優良の成蹟を舉げ會費徴收の如き毎期遲滯なく皆納しつゝあるが此程も貳千餘圓の會費を送附し來れりと是れ郡長の幹事部顧問たる尾形郡長を始め以下總員の幹旋と各幹事機宜を得たるに由る者にして同町村に於ける幹事及び委員の功勞亦頗る多きに居れり

◉韓國委員本部　韓國皇帝即位式に對し花瓶壹對を獻納する筈にて兒玉相談役より此程奥麗なる百合花に蝶の模樣ある七寶燒花瓶到達したるを以て統監府を經左の賀表を添へて宮内省に奉呈したり

賀表

恭て

大皇帝陛下即位式の大典を祝し

聖壽の無疆を祈り奉る

明治四十年八月廿七日

愛國婦人會韓國本部長鶴原誠子

愛國美譚

函館支部長の赤誠

口克く熱誠を說き、容克く眞實を裝ふも、一朝事變に遭遇すれば、雜然として能く其行を亂さゞるもの幾んど稀なり。客月廿五日夜、函館大火災に當り大に感ぜしことあり。恰も其翌廿六日は、函館支部第二回總會を舉行すべき日なるを以て、本部より評議員有島幸子氏會長代理として出張ありて、滯在中なりき。明日はめでたく總會を開かんものと、此日は何くれと打合せありて、準備おさ〳〵怠りなく、唯晴天ならんことを祈るのみなりき。夜も早十時を過ぎて二十分といふ頃、旅館の窓より眺むれば、東方數町の彼方に當り、一道の火光天に冲ると見る間に、黑煙は廣りて其中より紅蓮の舌を吐き、其焰を渦卷きて、此方へ向け道ひ來る、其勢の凄まじさ、折柄此地は三十日間も降雨なく、十日以來も吹き續く東風は、祝融氏の威を助け、函館全區一呑に呑まんと、忽ち火先きを三方に進め、有島氏の旅館を掠めて紅焰既に窓に入る、此時支部長山田武子氏は支部評議員北守ツネ子氏を伴ひ、慈地に旅館に驅け來り、有島氏を誘ひ、重き荷物を提げて、雨と降り頻る火の子の中を漸くに其自宅へ導き、一先づ避難せられたり。さるからに旅館は忽ち焦土となり、火焰は數町に廣りて、山の手さして進行す。斯くては山田氏の邸も危險なりと、再び避難の地を求めんとて、自家を見捨て出て行けり。山田氏には十五歳を頭に七人の子女あり、殊に當才の嬰兒を懷にしながら、夫人の動作最マメ〳〵しく、家財衣服には目もかけず、有島氏と我が子女とを安全の地に避けしめんと、心は矢竹にはやれども、足手纏の子女ありて、遠來の賓客有島氏をのみ保護することもなり難く、三方四方に氣を配る其心根のいぢらしさ、兎角する中漸くに臥牛山の中腹なる配水池畔に遁れ來て、身は安全を得たれども、山田氏の家は貲財を諸共に灰燼と成り、着の身着の儘といふ哀れなる境遇に過りたるも、夫人は少しも憂とせず、唯會長代理の有島氏をかゝる危殆に遭遇せしむると、誠に以て面目なし、せめては安全に保護して聊にても怪我なきやうなしまゐらせるより外なしと、其子女七人の安全と有島氏の安全とを其一身に引受けて、心を配らるゝ赤誠は拙なき筆にものせんことの能ふべくもあらず。火收まりて後、谷地頭といふ處に避難して一夜を此家に過したるに、山田氏は寸時も有島氏の傍を離れずして、旅中罹災の不幸を慰めらるゝに、有島氏は却りて氣の毒に思ひ、自分の事は兎に角に始末も附くべければ、必ず顧念を要せず。貴家は實に一大不幸に罹り給ひて定めて家政上の整理も要するならん、何卒自分に對する待遇は拋棄せられよと、幾度も辭退あれども、山田氏毫も肯かずして何ぞ其願ひに及び申すべき、家政はゆる〳〵整理せん、唯遠來の貴賓に對し、しばしにても不自由をさせ申すことの心苦しさ、本會に對し面目なし。我が心盡の幾分にても受けさせられんことこそ本懐なれと。其言行の端肅なること更に罹災の人とは見えず、有島氏は其心根を察し如何にも氣の毒に感じ、乃ち自分にて退去するに若かずと決心し、其翌日朝早く湯ノ川といふ處に移られきといふ。有島氏歸京せられて、當時の情勢の物語に、其火災の凄慘なる光景と、山田氏の端肅にして毫も其言行を亂さゞりし事を聞き、山田氏の意志の堅緻なるを思ひ、其本會に對する赤誠に感じ、茲に聊か事態を略記するになん。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十年九月二十日發行（每月二回五日廿日）
明治三十五年三月二十七日（第三種郵便物認可）

愛國婦人第百三十六號附錄

愛國婦人會長野支部諏訪郡幹事部戰役功勞受賞者

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 大久保高明 發行所 愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN